



始



58
107

世選

齒科材料藥劑處方彙集

58-117



近世

齒科材料藥劑處方彙集

大正
8 2 1
内交

緒言

- 一、本書ハ從來齒科醫術上應用セラレツ、アリシ諸材料、諸藥劑、處方ノ主ナルモノハ勿論更ニ發達セル近代齒科醫術ニ於テ稱用セララル、モノノ處方ヲ蒐集シ之ヲ應用ノ各方面分類ニ從ヒ排別シテ一編ヲ成セリ
- 一、元來治療ニ用ヒラル、藥劑モ齒科材料中ニ含マル、モノト云ヒ得ベケレドモ便宜上齒科獨特ナル技術ニ要スル材料ヨリ類別シ之ヲ前後兩編ニ分載セリ
- 一、各處方ハ其ノ製作上或ハ應用上特ニ注意スベキ事項及特種ノ名稱、發表者ノ明カナルモノハ特ニ附記スルニ努メタリ
- 一、本書中收載ノ藥物處方ノ秤量位ハ十位ヲ位階トシテ進退スル瓦ヲ以

テセリ

一、本書中附録トシテ全身諸部ニ發スル急性疾患中最モ屢々相偶スル主ナルモノヲ擧ゲ之ニ對スル應急的治療劑處方ヲ收載シ尙投藥上記載スベキ諸規表並ニ諸藥品取扱上ノ注意ヲモ附如シテ臨床家諸士ノ便ヲ期セリ

一、本書編纂ニ當リ引用セル東西諸著書頗ル多ク之等ニ負フ所又大ナレトモ更ニ同僚藥劑士早塚縫之助氏ノ尠カラザル援助ニ對シテ吾人等茲ニ深ク感謝ス

左ニ引用諸著書中主ナルモノヲ列記シテ謹ンデ謝意ヲ表ス

Gorgas, Dental Medicine.

Buckley, Mordern Dental Materia Medica Pharmacology and Therapeutics.

Prinz, Materia Mebca and Therapeutic.

Kirk, American Text-book of operative Dentistry.

Johnson, Text-book of Operative Dentistry.

Gilmor, Oral Surgery.

Turner American Text-book of prothetic Dentistry.

Prothero, Prosthetic Dentistry.

Peeso, Crown and Bridge work.

Burchard, A Text-book of Dental pathology and Therapentic.

Brophy, Oral Surgery.

Evans, Artificial crown and Bridge work.

Gorgas, Questions and Answers for Dental students.

Smith, Mannual of Dental Metallurgy.

Long, Dental Materia Medica and Therapeutics.

- Goslee, Principles and practice of Crown and Bridge work.
- Prinz, Dental Formulary.
- Koenig, Dental Metallurgy.
- Griffiths, Dental Metallurgy.
- Dieck-Miller Lehrbach der konservierenden Zahnheilkunde.
- Preiswerk, Zahnheilkunde.
- Mikalicz-Kummel, Krankheiten des Mundes.
- Dental Cosmos.
- Dental Review.
- Dental Summary.
- Dental Register.
- Dental Digest.

醫學士 大島櫟 石原孝吉兩氏掌中醫範

醫學士 宮田權之丞氏著臨床處方集

醫學博士 額田豐氏著臨床處方錄

ドクトル 佐藤運雄氏中川大介氏共著齒科處方醫典

醫學士 新井千代之助氏著口腔外科學

齒科新報

齒科學報

大正八年 初春

編者誌

目次

前編 齒科用材料

第一章 鐵着材料

第一節 金鐵……………一
 第二節 白金鐵……………九
 第三節 アルミニウム鐵……………一〇
 第四節 銀鐵……………一二
 第五節 黃銅鐵……………一四
 第六節 洋銀鐵……………一五

第二章 印象材料、分離劑、其他附屬劑

第一節 モテリングコンパウンド……………二三
 第二節 石膏印象材……………二五

目次

目次

- 第三節 グツタヘルカ印象材……………三
- 第四節 特種印象材及特種ソックス……………三
- 第五節 石膏分離劑……………六

- 第六節 石膏硬化速進及遲緩劑……………三
- 第七節 石膏模型硬度增進劑及石膏模型修理劑……………三

第三章 鑄型材料……………三二

- 第一節 陽型用金屬……………三
- 第二節 陰型用金屬……………六

- 第三節 型砂……………三

第四章 義齒材料……………四〇

- 第一節 假床用材料……………四〇
- 第二節 床用蒸和護膜……………四一
- 第三節 床用セルロイド……………四四
- 第四節 床用アルミニウム……………四四
- 第五節 鑄造床用合金……………四五

- 第六節 床用銀鈹……………四七
- 第七節 床用金鈹……………四八
- 第八節 陶齒冠用材料……………五〇
- 第九節 クラスプ合金……………五八

第五章 鑄造術用金、並ニ金冠繼續架工術用金……………六〇

- 第一節 齒科鑄造術用金……………六〇
- 第二節 金冠繼續架工術用金……………六三

第六章 齒冠充填材料……………六五

- 第一節 インレー用金……………六五
- 第二節 アマルガム……………六六
- 第三節 ストップピング……………六七
- 第四節 陶質充填材……………六六
- 第五節 齒科用セメント……………六八

第七章 其他金屬性諸材料及研磨劑……………八五

- 第一節 金屬性諸雜材……………八五
- 第二節 研磨劑……………八八

後編 齒科用藥劑……………九二

第一章 口腔、手指、器械消毒劑……………九二

- 第一節 口腔含嗽劑……………九二
- 第二節 器械並ニ手指消毒劑……………九九

目次

第二章 牙質治療劑..... 一三三

第一節 窩洞消毒並ニ象牙質知覺過敏症治療劑..... 一三三

第二節 窩洞乾燥劑及裏裝劑..... 一三五

第三節 齒牙漂白劑..... 一三九

第三章 齒髓疾患並根管治療劑..... 一三一

第一節 齒髓炎鎮痛劑..... 一三三

第二節 齒髓被帽治療劑..... 一四〇

第三節 齒髓失活劑..... 一四四

第四節 齒髓麻醉劑..... 一四五

第五節 齒髓乾屍劑液化劑其他破壞劑..... 一四六

第六節 拔髓後鎮痛、防腐止血劑..... 一五〇

第七節 根管消毒劑..... 一五九

第八節 根管充填劑..... 一六五

第四章 齒根膜疾病治療用劑..... 一七三

第一節 無腐敗性齒根膜炎治療劑..... 一七三

第二節 化膿性齒根膜炎及急性齒槽膿瘍治療劑..... 一七五

第三節 慢性齒槽膿瘍治療劑..... 一七六

第四節 齒槽膿漏治療劑..... 一八三

第五章 齒齦疾患治療劑..... 一九二

第一節 齒齦炎治療劑..... 一九三

第二節 弛緩性齒齦炎治療劑..... 一九五

第三節 潰瘍性齒齦炎治療劑..... 一九七

第四節 齒齦出血治療劑..... 二〇〇

第六章 神經痛治療劑..... 二〇二

第一節 局所塗布劑..... 二〇三

第二節 內服鎮靜劑..... 二〇八

第三節 注射治療劑..... 二二二

第七章 口腔內手術用注射麻醉劑..... 二二五

第八章 口腔內外科的手術後ノ止血、鎮痛劑..... 二二四

第一節 拔齒後ノ鎮痛劑..... 二三四

第二節 止血劑..... 二三七

第九章 口腔粘膜炎、咽喉其他周圍疾患治療用劑..... 二三三

第一節 加答兒性口內炎治療劑..... 二三三

第二節 亞布答兒性口內炎治療劑..... 二三七

第三節 潰瘍性口內炎治療劑……………二二九

第四節 汞毒性口內炎治療劑……………二四三

第五節 匍行疹性口內炎治療劑……………二四四

第六節 口腔實扶的里治療劑……………二四五

第七節 鴛口瘡治療劑……………二四八

第八節 馬鼻疽治療劑……………二五〇

第九節 口腔白斑症治療劑……………二五一

第十節 口腔黴菌治療劑……………二五三

第十一節 口腔水痛治療劑……………二五八

第十二節 咽喉加答兒治療劑……………二五九

第十三節 扁桃腺治療劑……………二六三

第十四節 上顎竇蓄膿症治療劑……………二六六

第十五節 顏面神經麻痺治療劑……………二六九

第十章 全身症狀治療劑……………二七一

第一節 解熱鎮靜劑……………二七一

第二節 催眠劑……………二七六

第三節 下劑……………二七九

第四節 制瀉劑……………二八六

第五節 腦貧血療劑……………二八九

第十一章 罌法劑及齒磨劑……………二九一

第一節 罌法劑……………二九一

第二節 粉末狀齒磨劑……………二九二

第三節 煉性齒磨劑……………三〇三

附 錄

第一章 全身諸疾患應急療劑……………一

第一節 急性胃加答兒療劑……………一

第二節 急性腸加答兒療劑……………四

第三節 凍傷療劑……………五

第四節 火傷煉劑……………七

第五節 腸管內蟻蟲驅蟲劑……………一〇

第六節 條蟲驅除劑……………一一

第七節 十二指腸蟲驅蟲劑……………一二

第八節 腦貧血……………一三

第九節 頭痛療劑……………一三

第二章 滴量表……………一五

第三章 秤量比較表……………一七

第四章 用量名目比較表……………一九

第五章 法定藥量名及慣用藥品名對照表……………二〇

第六章 藥品極量表……………二三

第七章 齒科ニ於テ準備スベキ主ナル藥品表……………三〇

第八章 齒科用主要藥品毒劇普通藥分類表……………三三

第九章 配合禁忌藥大要表……………三六

第十章 危害ヲ起スベキ藥品配合……………四一

第十一章 解毒藥略表……………四四

第十二章 日本藥局方ニ於テ特ニ規定セル藥物ノ貯藏法……………四九

第十三章 藥品巡視ニ對スル注意……………五三

目次終

近世 齒科材料藥劑處方彙集

ドクトル 鈴木 復三 共編
 ドクトル 青木 貞亮

前編 齒科用材料處方

第一章 鐵着用材料



第一節 金鐵處方

二十ニカラツト金鐵

(一) 純金 二匁二分

真鍮 二分

鐵着用材料

(二) 米國金貨 五分
 黃銅 一分

鐵着用材料

(三) 純金 二匁二分
銅 一分
亞鉛 一分二厘

二十カラット金鑽

(一) 純金 八分四厘
銀 五厘五毛
銅 七厘五毛
亞鉛 三厘

同(ツルマン氏)

(二) 純金 二匁
銀 一分
亞鉛 二分
銅 三分
以上合金 四分

(三) 純金 七分三厘
銀 一厘
銅 九厘一毛
亞鉛 七厘

(四) 純金 八分二厘三毛
銀 三厘八毛
銅 八厘三毛
亞鉛 一厘八毛
カドミウム 八厘五毛

(五) 純銀 二匁
亞鉛 一分
鐵 三分

(六) 純金 五、〇
銀 〇、五
銅 〇、二五
真鍮 〇、二五

(七) 米國金貨 一匁九分
銀 四分
銅 二分
黃銅 一分

鐵着用材料

鐵着用材料

十九カラット金鑽

米金貨

(一) 銅銀

二匁四分

四分

二分

十八カラット金鑽

純金

(一)

亞銅銀鉛

一匁八分

三分

二分

一分

四

米國金貨

銀銅

(二)

黃銅

一匁七分

四分

二分

一分

獨逸金貨

銀銅

黃銅

三匁〇〇

四分

一分

一分

(四)

純銀銅亞鉛

六五、五

一九、五

一〇、〇

七、〇

(六)

純銀銅真鍮

金一匁八分

二分六厘六毛

二分六厘六毛

六厘八毛

同(ツルーマン氏)

(五)

純銀銅亞鉛
カドミウム

七四、〇

六、五

一二、〇

一、八

一〇、〇

(七)

純銀銅亞鉛

一匁八分

一分

三分六分

二分

鐵着用材料

五

(八)

純金	七分六厘
銅	一分一厘五毛
銀	八厘五毛
亞鉛	四厘

(九)

純金	一匁二分
銀	三分
銅	一分
真鍮	一分

十六カラット金鐵

純金	六分八厘
銅	一分四厘五毛
銀	一分二厘五毛
亞鉛	五厘

(一)

純金	一匁六分
銀	二分
銅	一分

(二)

純金	一匁六分
銀	二分
銅	一分

(三)

米國金貨	一匁五分
銀	四分
銅	二分
黃銅	一分

(四)

獨逸金貨	一匁五分
銀	六分
銅	三分
亞鉛	痕跡

(五)

純金	三三、〇
銀	一〇、五
銅	五、五
亞鉛	一、五

(六)

純金	一匁一分
銀	三分
銅	一分五厘
亞鉛	一分

十五カラット金鑑

純金 一分五厘

銀 四分

銅 四分五厘

亞鉛 五厘

十四カラット金鑑

純金 五分七厘五毛

銀 一分三厘

銅 二分二厘

亞鉛 一分八厘

カドミウム 一分二厘

(二)

純金 五分
銀 二分六厘
銅 一分八厘
亞鉛 八厘

(三)

獨逸金貨 一分三厘
銀 八厘
銅 三厘
亞鉛 痕跡

(四)

純金 一分四厘
銀 五厘
銅 三厘五毛
亞鉛 一厘五毛

(五)

純銀 一、〇
銅 一、五
真鍮 〇、五
二十二カラット金屑 七、〇

(清川氏稱用)

第二節 白金鑑處方

(一) 純金 七分五厘
白金 二分五厘

(二) 純金 八分
白金 二分

(三) 純金 八分五厘
白金 一分五厘

鐵着用材料

第三節

アルミニウム

鐵處方

(一) 亞鉛 八分

アルミニウム 二分

(二) 銀 二厘

亞鉛 五厘

錫 二分三厘

五厘五厘

(三) アルミニウム 一五、八五、

(フリスマス氏)

(四) 純錫 九八、

蒼鉛 一、

アルミニウム

アルミニウム

(五) 亞鉛 六〇、

燐化錫 一〇、

三〇、

白金アルミニウム鐵

アルミニウム 一〇〇、〇

(六) 白金 一、〇

銀 三〇、〇

金アルミニウム鐵

アルミニウム 二〇、〇

(七) 金 五〇、〇

銀 一〇、〇

銅 一〇、〇

鐵着用材料

(八) 錫 八五、〇

銅 六〇、〇

アルミニウム 九、〇

(九) 銅 四〇、〇

アルミニウム 六〇、〇

亞鉛 九〇、〇

アルミニウム青銅用鐵(中鐵)

(一) 銅 銀 金
五四、四
二七、〇
一八、六

第四節 銀鐵處方

硬性銀鐵 (一) 銅 銀 四分
軟性銀鐵 (二) 錫 真 銀 三分
錄 一分

低熔銀鐵

(三) 亞 銅 銀 鉛
六分 三分 二分

高熔銀鐵

(四) 亞 銅 銀 鉛
六分 二分 一分

(五) 真 銅 銀 錄
三三六

(六) 真 銀 錄
五五

(七) 亞 黃 銀 鉛 銅
一六五

鐵着用材料

(八) 眞銀 錄

一〇三三

(九) 眞銅銀 錄

一、七〇
一、七〇
一、七〇
(清川氏ノ稱用)

一四

第五節 黃銅鐵

(一) 亞黃 鉛銅

一八

(二) 亞黃 鉛銅

四六

第六節 洋銀鐵

(一) 亞銅 鉛

三七五
五七五
八

(二) 亞銅 鉛

三八
一五〇
一二

第七節 軟鐵(ハンダ)

低熔軟鐵 (一) 錫 鉛

二〇〇
一〇〇

中熔軟鐵 (二) 錫 鉛

二〇〇
一〇〇

鐵着用材料

一五

高熔軟鑲

(三) 錫 鉛

一、〇
二、〇

軟 鑲

(四) 錫 銅 蒼鉛

八、九、三
一、八
一、八
蒼鉛
アンチモニー
七、一

第八節 眞鑲鑲

(一) 眞 鑲

二、〇
一、〇

註 時トシテ錫ヲ加フ

(二) 錫 銅 亞鉛

一、四、九
五、七、五
二、七、九
少量

註 白色ブラジル鑲ノ名アリ

第九節 鑲着用埋沒材處方

(一) 石 膏 綿

一 二

(二) 石 膏 綿

二 二

(三) 石 砂(粉末) 綿

一 一 二

(四) 石 膏 硅酸(極微粉末) 硅酸(稍粗)

三、三
四、五
二、二

(五) 石 膏 大理石末

一 二

(六) 石 膏 石 綿 黑鉛

一 一 二

(七) 石膏 鉛

一 二

(八) 石膏 海岸砂(粉末)

一 二

(九) 石膏 石炭灰(粉末)

一 二

註 石炭灰ノ粉末ハ篩ヲカケ極メテ微細ナルモノヲ用ユ尙少量ノ色素ヲ加フル時ハ石膏トノ混合度ヲ知ルヲ得ベシ

(四) 石膏 英國陶土 硅酸

一五、〇
一、〇
一、〇

(五) 酸化アルミニウム 硅酸 カルシウム

四二、〇
二〇、〇
一九、〇

(六) 石膏 大理石末 雪母末

二、〇
一、〇
一、〇

鑲着用材料

第十節 鑄造用埋沒材處方

(一) 石膏 大理石末

二 二

(二) 石膏 硅酸末

七 三

(三) 石膏 石膏 蒼鉛 粉末石鹼

七、〇
五、〇
三、〇
一、〇

(七) 石膏 黑鉛末 大理石末

二、〇
一、〇
一、〇

(八) 石膏 砂末 石綿末 滑石末

一〇、〇
一〇、〇
九、〇
一、〇

- (九) 石膏 六、〇
 大理石末 二、〇
 黑鉛末 二、〇
 滑石末 二、〇

- (一〇) 陶土 三、〇
 カルシウム 一、〇
 酸化アルミニウム 一、〇

- (二) 石膏 二、〇
 石炭灰(微粉末) 二、〇

第十一節 鐵着用溶劑

- (一) 硼砂(粉米) 適宜爲糊狀
 グリセリン 適宜爲糊狀

- (二) 硼砂(粉末) 適宜爲糊狀
 フゼリン 適宜爲糊狀

- (三) 硼砂 五、〇
 硼酸 四、〇
 硅酸ナトリウム 一、〇
 右混和爲粉末

- (四) 硼砂 一五、〇
 硼酸 一五、〇
 鹽化アムモニウム 〇、九
 炭酸カリウム 〇、三
 水 一二〇、〇

註 煮沸シ各合劑ヲ溶解セシメ後
 冷却セル水溶液ヲ蠟着面ニ塗
 擦ス

- (五) 硼酸 三〇、〇
 炭酸アムモニウム 〇、六
 重曹 四、〇
 アムモニア水 三〇、〇

ハンダ着用

- (六) 亞鉛 五、〇
 鹽酸 一〇、〇
 クロールアムモニウム 三、〇
 水 一〇、〇

- (七) アルミニウム用
 クロール亞鉛 一、〇
 クロール錫 一、〇
 ステアリン酸 八、〇

第十二節 金屬精煉用熔劑

金銀用

(一)

鐵着用熔劑

五、五

鹽酸カリウム

二、〇

硼酸ナトリウム

二、五

註 鑄造術用金ノ熔融、精煉ノ目的ニ使用ス

鐵着用熔劑

四、〇

硼砂

三、〇

酒石

二、五

動物性炭

〇、五

(二)

(三)

硼砂

一、〇

硝酸カリウム

三、〇

註 金ノ精煉殊ニ舊キ鑄造用金ヲ改新セシメ光輝ヲ増サシムルニ使用ス

(四)

硼砂

五、〇

硼酸

四、〇

硅酸ナトリウム

〇、七

第二章 印象材料、分離劑、其他附屬劑

第一節

モデリングコン

パウンド

英國 ロンドン ウィリアムス氏處方

(一)

カウリ松ノ樹脂 一、〇

石鹼石 一、四分ノ三

脂肪素 一、五

カルミン適宜着色

印象材料、分離劑、其他

(二)

ダムマルゴム

五〇、〇

滑石末

八五、〇

ステアリン

二五、〇

カルミン着色

コーバルゴム

一六、〇

ステアリン酸

二〇、〇

オレイン酸

四、〇

蠟

一七、〇

滑石末

四〇、〇

カルミン着色

二三

印象材料、分離劑、其他附屬劑

マニラコーバルゴム 三〇、〇

松脂 三〇、〇

蠟 一〇、〇

ステアリン酸 五、〇

滑石末 七五、〇

カルミン着色

二四

四〇、〇

七、〇

四、〇

四〇、〇

〇、三

適宜

五、〇

五、〇

適宜

少量

(五)

松脂

蜜蠟

テレピンゴム

滑石末

芳香劑

着色劑

樹脂

滑石末

アニリン色素

芳香劑

(六)



第二節 石膏印象材

(一) 石膏 三、

炭酸マグネシウム 一、

註 印象ノ破壊分離ヲ容易ナラシムルノ特徴ヲ有ス

石膏 一〇、〇

アスベスト 一二、〇

白堊末 四、〇

大理石末 一、〇

註 本材ニテ採得セル印象ハ陰陽

型用金屬ヲ注入シ鑄型ヲ調製

シ得

印象材料、分離劑、其他附屬劑

(三)

石粉膏

註 本合劑ヲ以テ採得セル印象内ニ模型用石膏ヲ注入シ硬化後湯熱中ニ煮沸スル時ハ印象ノ崩壊シ石膏模型ヲ得

四、〇

一、〇

二五

第三節 グツタベルカ印

象材

グツタベルカ	三五、〇
酸化亞鉛	九、〇
バーミリオン	五六、〇

第四節 特種印象材及特種

ワツクス

インレーワツクス

(一) 黄 蠟	一〇、〇
カルナンバ 蠟	三〇、〇
硬 蠟	五〇、〇
(二) 蜜 蠟	一、〇
パラフィン	一、〇

(三) 蜜 蠟	一、〇
パラフィン	一、〇
樹 脂	〇、一

モルゲイン

(四) 純粹洵土	二〇、〇
グリセリン	適宜煉和

(五) 陶 土	一四、〇
豚 脂	五〇、〇
精製硫黄	三〇、〇
酸化亞鉛	六、〇

モルゲイン改新劑	一、〇
グリセリン	九、〇
(六) 水	九、〇

スチツキワツクス

松 脂	一六、〇
黄色蜜蠟	八、〇
バーミリオン	一、〇
(七)	

粘着蠟(繼續架工用)

樹脂

一、〇

(八) パラフィン

一、〇

タルクム

〇、五

第五節 石膏分離劑

(一) 精製サンダラツク

一

酒精(純)

四

註 温メタル酒精ヲ用ヒザレバ溶解シ難シ

硼砂ノ泡和溶液

セラツク

着色劑少量

註 硼砂ノ泡和液ヲ熱シタル中ニセラツクヲ加ヘ加熱スル時ハ溶解シ着色ス之ノ液ノ冷却後濾過シタルモノヲ使用ス

(二)

(九) 松脂
蜜 蠟
ダンマルゴム

七、〇
四、〇
一、〇

其他分離劑トシテ使用セララルモノヲ舉グレバ

(三) コロジウム

(四) エーテル性石鹼

(五) 普通石鹼水殊ニオリーフ油

ト曹達トニテ製セルカスチル石鹼ハ有効ナリ

(六) 鯨油、パラフィン油、豚油、

(七) セラツク
酒精

一 五

註 石膏印象其他ニ着色ノ目的ニ使用ス

第六節 石膏硬化速進劑及遲緩劑

硬化速進石膏煉和用液

- (一) 水 食鹽 一、〇
九、〇
- (二) 水 明礬 一〇〇、〇
六、〇
- (三) 水 砂糖 一〇〇、〇
五、〇

遲緩劑

- (四) 炭酸カルシウム 五、〇
水 一〇〇、〇
- (五) 水 醋酸 一、〇
九、〇
- (六) 石膏 少量
アラビヤゴム

第七節

石膏模型硬度増進劑及石膏模型修復劑

- (一) 水 硼砂 一、〇
三〇、〇
註 石膏模型ヲ本劑中ニテ煮沸ス
- (二) 炭酸曹達液
註 模型ヲ本劑中ニ暫時浸漬ス
- (三) 明礬水(濃液)
右液内ニテ模型ヲ煮沸ス
印象材料、分離劑、其他附屬劑

(四) 明礬末 一、〇
鹽化アムモニヤ 一、〇

註 石膏ヲ水ニテ煉和前本劑ノ五
一六%ヲ石膏ニ加フル時ハ之
レヨリ得タル模型ハ硬固ナリ

- (五) セルロイド 一、〇
アセトン 一、〇
註 破切セル石膏模型片ノ連結劑
連結力極メテ強固ニシテ痕跡
ヲ生セズ

第三章 鑄型材料

第一節 陽型用金屬

- (一) 錫 鉛 一、〇
- (二) 錫 鉛 二、〇
- (三) 錫 鉛 四 一
- アンチモニー 五、〇
- リチアードソン合金陽型用 一、〇

- (四) 銅 鉛 二、〇
- 亞鉛 一、〇

- ハビッツメタル
- (五) 銅 鉛 一、〇
- 錫 二、〇
- アンチモニー 六、〇

註 此ノ合金ハ陽型及陰型用ニ供ス

ハスケル氏合金

- (六) 銅 鉛 一 二 八
- 錫 八 二 一

註 ハスケル氏ハビッツメタルト稱シ陽型用合金ナリ 熔融點二六〇度C

活字金

- (七) 鉛 錫 一 一 三
- アンチモニー 一 一 三

註 所謂活字金ト稱セラレ陽型用時トシテ陰型用ニ供ス

鑄型材料

メロツト易熔合金

- (八) 錫 鉛 錫 八 三 五
- 蒼鉛 八 三 五

註 陽型用或ハ陰型用トシテ最モ廣ク使用セラル 熔融點一〇〇、〇度C

ニユートン易熔合金

- (九) 錫 鉛 錫 八 五 三
- 蒼鉛 八 五 三

註 前者ニ同ジ 熔融點九五、〇度C

三三

デアーセット易熔合金

(一〇) 錫 鉛 蒼

熔融點九三、〇度C

二一一

オニオン易熔合金

(三) 錫 鉛 蒼

熔融點九二、〇度C

五三二

ダルトン易熔合金

(二) 錫 鉛 蒼

熔融點九二、〇度C

一〇、五
三、五

ローズ易熔合金

(三) 錫 鉛 蒼

熔融點七九、〇度C

八、八、三

ウッド易熔合金

(一四) 錫 鉛 蒼

カドミウム

熔融點七一、〇度C

一、四、二、一

キングスレー易熔合金

(一六) 錫 鉛 蒼

一、六、一

リッチモンド易熔合金

(一五) 錫 鉛 蒼

カドミウム

熔融點六五、〇度C

二〇、
一九、
四八、
一三、

エルマン易熔合金

(一七) 錫 鉛 蒼

鉛

二、一、一

鑄型材料

ブローファイ易熔合金

(一八) 錫 二、五
鉛 三、七五
蒼鉛 三、

ハーバー易熔合金

(一九) 錫 一、七四、四
鉛 一、七四、四
蒼鉛 一、七四、四
カドミウム 一、七四、四
熔融點八〇、度C

クロース易熔合金

(二〇) 錫 一、八五、五
鉛 一、八五、五
蒼鉛 一、八五、五
ガドミウム 一、八五、五
熔融點九〇、〇度C

リッテンベルヒ易熔合金

(二一) 錫 五、三、二
鉛 五、三、二
蒼鉛 五、三、二
熔融點八六、度C

リボウニツ易熔合金

(三) 錫 一、五、八、四
鉛 一、五、八、四
蒼鉛 一、五、八、四
カドミウム 一、五、八、四
熔融點六〇、度C

ホツチエン易熔合金

(三三) 錫 二、八、五、三
鉛 二、八、五、三
蒼鉛 二、八、五、三
アンチモニー 二、八、五、三
熔融點一〇六、五度C

スベンスメタル

(二四) 鐵粉 七、五
硫化鐵 八、五
硫化亞鉛 八、五
硫化アンチモニー 八、〇
硫黃 八、〇
熔融點一一〇、一七〇、度C

ブリクニヤメタル

(二五) 錫 七、五
鉛 八、五
蒼鉛 八、五
アンチモニー 八、〇
熔融點一〇六、五度C

鑄型材料

其他陽型用トシテ一般ニ使用セラ
ル金屬ハ

亞鉛
錫
銅ノ合金等ナリ

第二節 陰型用金屬

陰型用トシテハ前記陽型用金屬ヲ
併用スレドモ殊ニ陰型用金屬トシ
テ舉グレバ

鉛
ハンダナリ

第三節 型砂處方

(一) 大理石末
水

註 練和セルモノヲ型砂トシテ齒
科用ニ供ス混合量ハ大理石末
一ガロン中ニ水半ポンド位ヲ
適量トス

(二) 大理石末
水或ハグリセリン又ハ油

註 練和セルモノヲカルカト稱
シグリタートン氏ノ發明ニカ、
ルモノニシテ齒科ニ於テ最モ
多ク使用セラル

鑄型材料

(三) 粉末狀砂
油

註 之ノ混和セルモノヲチエース
ノ型砂ト稱セラル

(四) 微細鑄工用砂
陶土末

註 粉末ヲ水トグリセリントノ混
液ニテ濕潤ス

第四章 義齒材料

第一節 假床用材品

假床用ワツクス

- | | | | | | |
|-----|--------|------|-----|----------|------|
| (一) | 松脂 | 一、〇 | (三) | 黑色グツタベルカ | 一、〇 |
| | 黄蠟 | 三、〇 | | セラツク | 一八、〇 |
| | パラフィン | 六、〇 | (四) | 蜜蠟 | 五〇、〇 |
| | 蜜蠟 | 二〇、〇 | | 乳香ゴム | 六、〇 |
| (二) | テレピン | 四、〇 | | 精製白堊 | 三、〇 |
| | 棉種油 | 一、〇 | | バーミリオン | 四、〇 |
| | バーミリオン | 二、〇 | (五) | 蜜蠟 | 四、〇 |
| | | | | セラツク | 一、〇 |

- (六) セルラツク 三、〇
 モデリング 一、〇

- (七) セルラツク 二、五
 モデリング 一、〇

第二節 義齒床用蒸和ゴム

一般ゴム(カウチア

ツク) 二、

硫黄 一、

朱 適宜

註 硬ゴムト稱シ色澤ニヨリテ赤色ゴムノ名アリ

(二)

普通ゴム(カウチアツク) 二、
硫黄 一、
象牙墨 一、

註 硬ゴムノ一種黒色ゴムノ名アリ

(三)

普通ゴム(カウチアツク) 二、
硫黄 一、
酸化亜鉛 四、

註 灰白色ゴム

(四)

ゴム(カウチアツク) 二、
硫黄 一、
酸化亜鉛 一、五
バーミリオン 〇、五

註 齒齦部用ゴム

(五)

蒸和ゴム
アルミニウム粉末
註 ゴールドダストラバーノ名アリ上顎床ヲ調製スルニ使用ス

(六)

ゴム(カウチアツク) 二、
硫黄 一、
象牙墨 二、

註 眞黒色ゴム

(七)

蒸和ゴム
錫屑
註 加重ゴムト稱シ下顎床ニ使用ス

(八)

ゴム(カウチアツク) 五、
硫黄 一、
註 軟ゴムト稱シ蒸和ニヨリテ硬化少ナシ故ニ口蓋補綴術其他ニ使用ス

第三節 床用セルロイド

綿火藥 一〇〇、〇
樟腦 四〇、〇
白色酸化亞鉛 二、〇
朱 〇、六

第四節 床用アルミニウム處方

(一) アルミニウム 九九、五五
鐵 〇、一五
シリゴン 〇、三〇

(二) アルミニウム 九五、〇
銀 五、〇

(三)

アルミニウム 九八、〇
白 金
銀 二、〇
銅

註 鑄造床用アルミニウム合鐵

(四)

アルミニウム 九〇、〇
マグネシウム 一〇、〇
註 床用 (マグネシウム)

第五節 鑄造床用合金

(一) 銀 二、〇
金 一、〇
錫 二〇、〇
註 下顎義齒床鑄造用

(二) 銀 一、〇
錫 五、〇
註 ワット合金ト稱シ鑄造床用ニ
供ス

(三)

錫銀
註 ピアース合金床用
九五、〇

(四)

銀白金
錫金
註 サンショウウ合金床用
二九、〇
二、五
三、五
六五、〇

(五)

錫
カドミウム
一六、〇
一、〇

(六)

純金
白金
バラジウム
銅銀
註 鑄造局所義齒床用金
八〇、五
六、五
二、〇
二、〇
九、〇

(七)

純金
白金
バラジウム
銅銀
註 鑄造局部床用金ノ合金
八〇、〇
九、五
二、五
一、〇
七、〇

(八)

純金
バラジウム
銀
銅
註 鑄造局部床用金
九五、〇
三、三
〇、四
一、三

第六節 床用銀鈹

(一) 銅銀
九、〇
一、〇

デンタルアロイト稱セラレ床用

(二) 白金
七〇、〇
三〇、〇

デンタルアロイ

(三) 白金
八〇、〇
二〇、〇

第七節 床用金銀處方

十八カラット金

純金

三匁六分

(一) 銀銅

八分 四分

二十カラット金

純金

四匁〇〇

(二) 銀銅

四分 四分

二十二カラット金銀

純金

四匁四分

(三) 銀銅

二分 一分五厘

白金

五厘

床用金銀

純金

八匁八分

(四) 白金

パラジウム

七分五厘 二分五厘

銀

二分

床用金銀

八匁四分五厘

白金

八分五厘

(五) 白金

二分

銀銅

五厘 四分五厘

二十カラット床用

二匁〇

(六) 銀

白金

一分

義齒材料

二十一カラット

二匁一分

(七) 銀銅

一分 二分

二十カラット

二匁

(八) 銀銅

九厘

米金貨

一分

二十カラット

獨逸金貨

二匁

(九) 銀 銅

八厘三毛
七厘五毛

第八節 陶齒冠用材料

A 陶材基體

型齒用

二十一カラット

(一〇)

白金 銀 白金

二分一分
二分五厘
五厘

(一)

陶上 石英 長石 澱粉 酸化チタニウム
二分ノ一号 三号 一八号 一〇、〇匁 六五、〇匁

ワイルドマン氏處方彫齒用

(二)

陶土 長石 石英 チタニウム

一二、〇
三六〇、〇
一二、〇
一、五

(四)

石 石英 長石 陶土 チタニウム

一九、二
一二〇、〇
七、二
〇、二四

ホール氏處方彫齒用

(三)

石 石英 長石 獨逸粘土 チタニウム

一〇五、〇
四二〇、〇
一五、〇
二、五

型齒用

(五)

獨逸陶土 長石 石英 澱粉 チタニウム

〇、五
一八、〇
三、〇
〇、一
〇、四

コバルト着色劑(青色)

- コバルト 六〇氏
- 酸化チタニウム 六氏
- 黄金着色劑 六〇氏
- 長石 一弓

白金着色劑着色(灰色)

- 白色着色劑(青色) 三〇氏
- 酸化チタニウム 一〇氏
- 黄金着色劑 一〇〇氏

黄金着色劑(帶赤褐色)

- 金箔 一二氏
- 板硝子 二〇氏
- 長石 一弓

白金着色劑(青色)

- 白金(王水溶液) 一ペンニ
- ウエト
- 硝子 一弓
- 長石 二〇氏

B 琺瑯陶材

ワイルドマン氏處方灰白色琺瑯

- 長石 三〇〇、〇
- 海綿白金 二四、〇
- 酸化金 三六、〇
- 熔劑(フラックス) 一二、〇
- ワイルドマン處方灰白色
- 長石 三〇〇、〇
- チタニウム 四八、〇
- 海綿白金 二四、〇
- 熔劑(フラックス) 一四、四

ホール氏處方白金灰白色琺瑯

- 長石 三〇〇、〇
- 白金灰白着色劑 一二、〇
- 澱粉 一〇、〇
- ホール氏暗灰色琺瑯
- 長石 三〇〇、〇
- チタニウム 一〇、〇
- 熔劑 二、四

黄色珫瑯

長石

三〇〇、〇

チタニウム

一〇、〇

黄金着色劑

〇、六

コバルト灰

一、二

ワイルドマン氏黄色珫瑯

長石

三〇〇、〇

チタニウム

一、二

黄金着色劑

二、四

澱粉

一〇、〇

黄色珫瑯

長石

六〇〇、〇

チタニウム

六、〇

海綿白金

〇、三

酸化金

〇、三

青白色珫瑯

長石

三〇〇、〇

チタニウム

一〇、〇

酸化金

一、八

青色

長石

三〇〇、〇

海綿白金

一、八

コバルト灰

一、五

熔劑

一四、〇

齒齦珫瑯

カシアス紫粉

八、〇

長石

七〇〇、〇

熔劑

一七五、〇

帶赤黄色珫瑯

長石

三〇〇、〇

チタニウム

一〇、〇

黄金着色劑

〇、六

白金着色劑

〇、六

齒齦着色劑

二、四

齒齦色澤劑

長石

五〇、〇

齒齦色澤劑

一〇、〇

寒水石

寒水石

一〇、〇

薔薇赤

〇、六

熔劑

一〇、〇

珫瑯陶材熔劑

- (一四) 炭酸加里 三三〇
- 硼砂硝子末 三三五
- 硅酸末 一三〇

齒齲珫瑯熔劑

- (一五) 長石 一〇〇
- 硼砂末 五〇
- 苛性加里 一、五

C 色澤劑

- (一) 銀 四三二〇
- 金 四八〇
- 錫 三六〇

註 カシアス紫粉

齒齲部着色劑(ピンク)

青白色色澤劑

- (二) 長石 三〇〇
- 白金(王水溶液) 一四、四
- 硝子 一二、〇

黄金色澤劑(赤褐色)

- (三) 長石 三〇〇
- 硝子末 一二、〇
- 金箔 七、二

コバルト色澤劑(淡青色)

- (五) 長石 三〇〇
- 黄金色澤劑 三六、〇
- 酸化チタニウム 三、六
- コバルト 三六、〇

白金色澤劑(灰色)

- 白金(王水溶液) 一八、〇
- (四) 黄金色澤劑 六〇、〇
- 酸化チタニウム 六、〇

鐵色澤劑(黄褐色)

- 長石 三〇〇
- (六) 黄金色澤劑 三六、〇
- 酸化チタニウム 〇、六
- 鐵 二、四

チタニウム色澤劑(黄色)

(七) 長石 三〇〇、〇
 黄全色澤劑 〇、五
 チタニウム 一〇、〇

第九節 クラスプ用金處方

(一) 純銀 六分二厘
 銅 一分四厘
 白銀 二分一厘
 金 二厘

熔融點八七〇、度^c

(二) 純銀 六分五厘
 銅 一分五厘
 白銀 一分三厘
 金 七厘

熔融點九四〇、度^c

(三) 純銀 六分三厘
 銅 一分七厘
 白銀 七厘
 金 一分三厘

熔融點一〇一五、度^c

(四) 純銀 六分五厘
 銅 六厘
 白銀 七厘
 金 一分八厘

熔融點一〇七〇、度^c

(五) 純銀 六分四厘
 銅 一厘五毛
 白銀 七厘
 金 一分一厘

熔融點一一五〇、度^c

(六) 純銀 二分
 銅 二分
 白銀 二分
 金 二分

註 二〇カラットクラスプ用金ヲ
 得本處方合金ハハリス氏ノ價
 川セラレ、モノナリ

第五章 齒科鑄造術用金並ニ金冠繼續架工用金

第一節 齒科鑄造術用金

- (一)
- | | |
|-------|------|
| 純金 | 九分七厘 |
| 白金 | 一厘五毛 |
| パラジウム | 三毛 |
| 銀 | 三毛 |
| 銅 | 九毛 |

註 熔融點一〇六三度C

隣接面高洞インレー用ニ供ス

- (二)
- | | |
|-------|------|
| 純金 | 九分五厘 |
| パラジウム | 三厘三毛 |
| 銀 | 四毛 |
| 銅 | 一厘三毛 |

註 熔融點一〇六三度C
一般インレー鑄造ニ用ユ

(三)

- | | |
|-------|------|
| 純金 | 八分〇〇 |
| 白金 | 九厘五毛 |
| パラジウム | 二厘五毛 |
| 銀 | 一厘 |
| 銅 | 七厘 |

註 熔融點一〇三五、〇度C

金冠咬合面鑄造ニ適シ又咬合面インレー鑄造ニ供ス

(四)

- | | |
|-------|------|
| 純金 | 八分〇〇 |
| 白金 | 六厘五毛 |
| パラジウム | 二厘 |
| 銀 | 二厘 |
| 銅 | 九厘 |

熔融點九八〇、〇度C

第二節 金冠繼續架工術用

純金

純金 八分八厘

白金 七厘五毛

パラジウム 二厘五毛

銀 二厘

註 帶鑲、咬合面飯用
熔融點一一三五、〇度C

(一)

純金

註 金冠、架工術用

アメリカ金貨ノ處方ニシテ金冠架工術用ニ適ス

二一、六カラット強

熔融點八六〇、〇C

九分
一分

(二)

純金

純金 八分四厘五毛

白金 八厘五毛

パラジウム 二厘

銀 五毛

註 帶鑲、金帽、咬合面飯用

熔融點一〇八〇、〇度C

(三)

(四)

純金 二匁二分
純銀 一分
銅 一分

註 金冠、架工術用

二十二カラット

合釘用十七カラット

(五) 純金 一匁七分
純銀 二分
銅 四分
白金 一分

合釘用十八カラット

(六) 純金 一匁八分
純銀 四分
銅 一分
白金 一分

同十八カラット

(七) 純金 一匁八分
純銀 二分
銅 三分
白金 一分

合釘用

(八) 白金
イリジウム

六分
一分

合釘或ハ弦線用

(九) 純金
銀
銅
白金

六七、〇
四、五
八、五
一二、〇
七、〇
一、〇

亞鉛
注 熔融點一〇七〇、度C

パラジウム

合釘又ハ彈線力

純金

六六、五

銀

一、五

銅

六、五

白金

一六、五

パラジウム

九、〇

熔融點一二五〇、度C

第六章 齒冠充填材料

第一節 インレー用金

隣接面窩洞用

(一) 純金
白金
パラジウム

九七、〇
一、五
〇、三
〇、三
〇、九

銀
銅

一般インレー用合金

純金

九五、〇

(二) 銀
銅
パラジウム

〇、四
一、三
三、三

二十二カラット、インレー用金

純金

二二、〇

(三) 銀
銅

一、〇
一、〇
一、〇

齒冠充填材料

二十二カラット、インレー用金

(四)	純金	二二、〇
	銀	〇、七五
	銅	一、〇
	白金	〇、二五

第二節 アマルガム充填用合

金

フラッグ金アマルガム

(一)	銀	五八、〇
	錫	三七、〇
	金	五、〇
(二)	銀	四五、〇
	錫	四五、〇
	金	一〇、〇

タウンセンド改良合金

(三)	銀	四四、五〇
	錫	五四、五〇
	金	一、〇〇

コーク合金

(五)	錫	五五、〇
	銀	四三、六五
	金	一、三五

ウエルヒ金、白金アマルガム

(四)	錫	五一、九〇
	銀	四六、〇〇
	白金	一、七〇
	白金	〇、四〇

ダウンソン氏アマルガム

(六)	錫	六三、五五
	銀	三一、八五
	白金	〇、六五
	白金	〇、一五
	銅	二、三五
	亞鉛	一、四五

齒冠充填材料

齒冠充填材料

シヨソソソソ、ルソド、エキストラ

錫 六一、五五

銀 三六、七五

(七) カドミウム 一、四五

白金 〇、一五

白金 〇、五〇

ブラックアマalgam

錫 二五、五

銀 六八、五

(八) 亞鉛 一、〇

金 五、〇

六八

ブラックアマalgam

錫 二六、〇

銀 六八、〇

(九) 亞鉛 五、〇

銅 二、〇

ツエンチーセンチュリー合金

錫 二七、一三

銀 六七、〇二

(一〇) 亞鉛 四、八七

銅 一、一

チエース銅アマalgam

錫 五〇、〇

銀 五〇、〇

(二) アンチモン

銅 一〇、〇

チエース錫アマalgam

錫 五〇、〇

(三) アンチモン

銀 五〇、〇

錫 七、〇

アツシユアマalgam

錫 二七、一六

銀 六六、五四

(三) 亞鉛

銅 五、〇二

ハリスアマalgam

錫 〇、九

銀 四八、一

(四) 亞鉛 四〇、〇

銅 四、九

錫 七、〇

齒冠充填材料

六九

齒冠充填材料

イツシングノ合金

(一五)	錫	五五、〇〇
	銀	四五、〇〇
	白金	二、五〇
	白金	二、五〇
	白金	二、五〇

註 四〇—六〇%ノ水銀トヲ混和セシム

エス、エス、ホワイト會社グローブ
アマルガム

(一六)	錫	五三、三六
	銀	四七、七四
	白金	一、五〇
	白金	〇、四〇

コークノ合金

(一七)	錫	六一、七五
	銀	二七、二五
	白金	〇、一五
	白金	〇、二五
	銅	一〇、六〇

ブラツクウッド合金

(一八)	錫	五六、八五
	銀	四二、〇〇
	白金	〇、五〇
	亞鉛	一五、〇〇
	亞鉛	〇、五〇

ダウンソン氏ホワイトアロイ

(一九)	錫	四九、二七
	銀	四八、二五
	金	〇、〇五
	亞鉛	二、四四
	巴拉ジウム	痕跡

齒冠充填材料

デイブル氏

(二〇)	錫	四九、六五
	銀	四九、七五
	金	〇、二〇
	亞鉛	〇、四〇

ハードマン氏

(二一)	錫	四四、五七
	銀	五〇、一二
	銅	五、三一

齒冠充填材料

チアスチー氏

(三)	錫	銀	白金	銅	錫	銀	亞鉛
(三)	錫	銀	白金	銅	錫	銀	亞鉛
				キング氏			

五九、一〇	三五、二〇	〇、三二	〇、〇八	三、五〇	五四、七五	四二、七五	二、五〇
-------	-------	------	------	------	-------	-------	------

ローレンス銅アマルガム

(二)	錫	銀	銅	チイス氏	錫	銀	白金	白金
(二)	錫	銀	銅	チイス氏	錫	銀	白金	白金
(二)	錫	銀	銅	チイス氏	錫	銀	白金	白金

五〇、四三	四四、〇六	五、五一	四〇、〇	二四、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
-------	-------	------	------	------	-----	-----	-----	-----

フレツチアー合金

(三)	錫	銀	白金	銅	白	金	銀	錫
(三)	錫	銀	白金	銅	白	金	銀	錫
(三)	錫	銀	白金	銅	白	金	銀	錫

五〇、三五	四三、三五	三、三五	一、九〇	一、六五	七五、〇	二五、〇		
-------	-------	------	------	------	------	------	--	--

第三節

ストツピング 並ニ暫間充填材

ヒル氏ストツピング	長石	一分
(一)	石英	一分
生石灰	二分	
ガツタパーチャ	適量	
早塚氏ストツピング		
(二)	黄蠟	四、〇
酸化亞鉛		八、〇
グツタベルカ		一〇、〇

齒冠充填材料

齒冠充填材料

早塚氏ストツピング

黄 蠟

四、〇

(三) 酸化亜鉛

八、〇

サンダラツク

二、〇

グツタベルカ

一五、〇

プリンツ氏ストツピング

グツタベルカ

一六、〇

アルミニウム

一〇、〇

(四) 酸化亜鉛

二、〇

白 堊

一、〇

グツタベルカ

二二、〇

(五) 酸化亜鉛

七五、五

炭酸石灰

二〇、五

グツタベルカ

六、〇

白 蠟

二、〇

(六) 硅 酸

三、〇

長石末

三、〇

プリンツ氏

グツタベルカ

二、〇

(七) 酸化亜鉛

八、〇

硅酸カルシウム

一、〇

プリンツ氏銅グツタベルカ

グツタベルカ

六、〇

(八) 酸化銅

六、〇

酸化鉛

一二、〇

グツタベルカ

三、〇

(九) 白 蠟

二、〇

白 堊

一、〇

齒冠充填材料

(一〇)

グツタベルカ

一枚

パラフィン

六、〇

石 綿

〇、三

酸化亜鉛

一、〇

第四節 陶質充填材

マイスネル氏處方

- 硅酸 五八、五
- 酸化アルミニウム 三五、一〇
- 酸化カリウム 五、
- 酸化カルシウム 〇、三
- 酸化鐵 〇、八

ハンター氏處方

- 長石 二号
- 硅酸 一、五号
- 陶土 〇、五号
- 熔劑 八号
- 硅酸 四号
- 硼砂 一号
- 苛性カリ

基礎體

- (四) 熔劑 一号
- 松粗基體 一号
- 石絨 二号
- 齒齲珫瑯 二号
- (五) 熔劑 一号
- 長石 一号
- 英吉利紅 四〇号

スミス氏

- 松粗基體 二〇号
- 石英 二四号
- 長石 二四号
- 苛性カリ 每ニ二号
- チタニウム 每ニ二号
- スミス氏 每ニ二号
- 齒齲珫瑯 每ニ二号
- 齒齲着色劑 四、五ペニウート
- (七) 熔劑 一六ペニウート
- 松粗基體 一一ペニウート
- 氷石 七ペニウート

スミス氏

熔劑

- (六)
- 硅酸 一八ベニウート
 - 長石 一〇、同
 - 硼砂 二、同
 - 氷石 二、同
 - 苛性加里 一〇氏
 - チタニウム 一、五—一五

第五節 齒科用セメント

- (一)
- 磷酸セメント粉末 九、
 - 酸化亞鉛 一、
 - 硼砂 二、
 - 硅酸 同煉和用液
 - 同煉和用液 二〇、〇
 - 鹽基性磷酸 四一、〇
 - 鹽基性磷酸ソーダ 三九、〇
 - 蒸溜水

(二) 磷酸セメント粉末

- 酸化亞鉛 七三、四三
- 酸化アルミニウム 二六、〇五
- 硅酸 〇、七五
- 同煉和用液
- 前者ニ同シ

(四) 磷酸セメント粉末(ベトロイド)

- 酸化亞鉛 八九、六
- 酸化蒼鉛 五、八
- 酸化マグネシウム 四、七
- 同煉和液
- 磷酸 六一、七
- 磷酸アルミニウム 二、〇
- グリセリン 二、八
- 蒸溜水 二四、四

(三) 磷酸セメント粉末

- 酸化亞鉛 八、〇
- 硝子末 二、〇
- 同煉和液
- 前者ニ同シ

齒冠充填材料

齒冠充填材料

(五)

磷酸セメント粉末	
酸化亜鉛	二、〇
酸化マグネシウム	一、〇
同煉和液	
鹽基性磷酸	二、〇
鹽基性磷酸ソーダ	四一、〇
蒸溜水	三九、〇

(六)

磷酸セメント粉末	八〇
酸化亜鉛	二〇〇、〇
硅酸	八、〇
硼砂	四、〇
硝子末	五、〇
同煉和液	
磷酸	五、〇
蒸溜水	適宜

(七)

磷酸セメント粉末	
酸化亜鉛	五〇、〇
酸化マグネシウム	一〇、〇
硼酸	一、〇
同煉和液	
磷酸亜鉛	一、〇
磷酸	二〇、〇
水	一〇、〇

(八)

磷酸金セメント粉末	
金粉	二、〇
磷酸セメント末	一、〇
同煉和液	
磷酸セメント用液	
磷酸銅セメント粉末	
酸化銅	五、〇
磷酸セメント末	五、〇
同煉和液	
磷酸セメント用液	

(九)

齒冠充填材料

齒冠充填材料

(一〇)

磷酸錫セメント粉末
錫粉末

磷酸セメント

同液

磷酸セメント用液

硫酸セメント粉末

硫酸亞鉛

酸化亞鉛

同煉和液

アラビヤゴム

水

二七、五〇
一、〇
二、〇
一、〇
一六、〇

八二

(一一)

硫酸セメント粉末
硫酸亞鉛

酸化亞鉛

乳香末

同煉和液

水

アルコール

アラビヤゴム

一一二、〇
一〇〇、〇
七、五
六五、〇
一〇、〇
二五、〇

(一二)

硫酸セメント粉末

硫酸

陶土

石灰

マグネシウム

同煉和液

磷酸

水酸化アルミニウム

磷酸カルミウム

マグネシウム

液混

二七、五〇
五三、六〇
一一、六〇
一、四五

ブリント氏

(一三)

硫酸セメント粉末

酸化亞鉛

硼砂

同液

同液

鹽酸亞鉛

水

三〇、〇
二、〇
一、〇
一、〇
一、〇
五、〇

齒冠充填材料

ブリッソツ氏

(一五) 同 粉末

酸化亞鉛
硝子末
硼砂
同液
鹽酸亞鉛
水

一、八
〇、六
〇、一
二〇、〇
六、〇

ブリッソツ氏

(一六) 同 粉末

酸化亞鉛
同液
鹽酸亞鉛
水
硼砂

二、
一、〇
少量

第七章 其他金屬性諸材料及研磨劑

第一節 金屬性雜材

真鍮線

(一) 亞銅 鉛

七、〇
三、〇

白色真鍮

(二) 亞銅 鉛

一、〇
二、〇

アルミ銅

(三) アルミニウム 銅

一、〇
九、〇

註 金代用合金、クラスプ矯正裝
置調製用

洋 銀 銅

四〇、〇

(四) ニッケル 亞鉛

三一、〇

鐵 亞鉛

二五、四

洋

(五) 銅 鉛

ニッケル

五〇、〇
一九、〇
一三、〇

洋銀(英國製)

(六) 銀 金

蒼鉛
ニッケル

〇、七五
二三、四〇
四、二〇
七二、〇

プラチノイド(米國製)

(七) 銅 鉛

鐵 鉛

〇、一二
六〇、五
二三、〇

金代用合金

(八) 銅 鉛

ニッケル
カドミウム

一五、九七
〇、二
八八、八
一一、二

同

(九)

白銅 銀 金

三、五三
一一、七一
二四、〇

同

(一〇)

白亞銅 鉛 金

七、〇
一、〇
一六、〇

金代用合金(フランス金)

(二) 銅 鉛

鐵 鉛

六八、二
一三、五二
〇、四八
〇、二四

金代用オランダメタル

(三) 銅 鉛

ベルメタル

(三) 錫 銅

一一、〇
二、〇
七八、〇
二、〇

米國銀貨佛國銀貨

(四) 銀 九、〇
銅 一、〇

英國銀貨

(一五) 銀 一、一、〇
銅 九、〇

第二節 研磨用劑

一般金屬研磨用

精製白堊

アムモニヤ水 四、〇

(一) 酒精

水 一〇〇、〇

真鍮其他一般研磨用

テレピン油 四、〇

アルコール 一、〇

石油 五、〇

アムモニヤ水 二、〇

金冠繼續架工齒研磨用

テレピン油 一、〇

アルコール 三、〇

石油 六、〇

アムモニヤ水 一、〇

金製物研磨用

鹽酸石灰 二、〇

炭酸曹達 一五、〇

硫酸曹達 二、〇

金製物研磨

酸化鐵 三、〇

(五) 硼砂 三、〇

炭酸アムモニウム 二、〇

金銀研磨用

炭酸石灰 四〇、〇

酸化鐵 五、〇

炭酸マグネシア 四、〇

礬土 一〇、〇

(六)

其他金屬性諸材料及研磨劑

銀製品研磨用

(七) 次亞硫酸曹達 一〇、〇
 アムモニア水 二、〇
 青酸加里 一、〇
 水 一〇〇、〇

アルミニウム研磨用

(八) ステアリン酸 一、〇
 漂布土 一、〇
 トリポリ石末 六、〇

真鍮磨

(九) 白堊 八、〇
 陶土 三、〇
 炭酸マグネシア 一、〇
 酸化鐵 一、〇

ゴム床研磨用

(一〇) 陶土 三、〇
 トリポリ石末 三、〇
 酸化鐵 二、〇
 炭酸マグネシア 一、〇

鑄造後ノ金インレー清淨劑

(二) 第一液 硫酸 一、〇
 水 二、〇
 第二液 弗化水素酸 一、〇
 水 二、〇

註 第一液内ニテ煮沸シ後第二液
 内ニ數時間浸漬ス

其他金屬性諸材料及研磨劑

後編 齒科用藥劑處方

第一章 口腔、手指、器械、消毒劑

第一節 口腔含嗽劑

防腐消毒性並ニ收斂性

- (一)
- | | |
|---------|-------|
| チモール | 〇、三 |
| 安息香酸 | 三、〇 |
| ユーカリプタス | 一二、〇 |
| 丁幾 | 一〇〇、〇 |
| 酒 精 | 一〇〇、〇 |

註 右合劑十滴乃至三十滴ヲ半コ
ツブノ温湯ニ混和シテ用ユ

防腐消毒性並ニ收斂性

- (二)
- | | |
|-------|------|
| リステリン | 一〇、〇 |
| 温 湯 | 二〇、〇 |
| 右含嗽料 | |

防腐消毒並ニ收斂性

- 薄荷 精 一、〇
- チモール 〇、一二
- 安息香酸 二、五
- (三)
- | | | |
|-----------|----|-------|
| ユーカリプタス | 丁幾 | 一四、〇 |
| ウインスターグリン | 精 | 一、五 |
| アルコール | | 一〇〇、〇 |
- 註 右合劑十滴位ヲ水ニ滴下シテ
用ユ

消毒收斂性

- (四)
- | | | |
|--------|----|------|
| ミルラー | 丁幾 | 五、〇 |
| ラーペンデル | 精 | 五五、〇 |
| サツカリ | | 〇、五 |
- 註 右合劑十滴ヲ半コツブノ温湯
ニ混和シテ使用ス

消毒收斂性(バックレー氏)

- 硼酸 二〇、〇
 - 安息香 一、〇
 - チモール 一、〇
 - ユーカリプトール 〇、二五
 - メンタ油 〇、二五
 - 冬緑油 〇、二五
 - チーメ油 〇、一
 - アルコール 二四〇、〇
 - 水 一〇〇〇、〇
- 註 右含嗽料、齒槽膿漏其他化膿性口腔疾病患者ニ慣用セラル

消毒收斂性

- (六) 三%硼酸水 四〇〇、〇
 - ミルラーベンデル精 一、〇
- 右含嗽料
- 註 ミルラーベンデル精處方左ノ如シ
- ミルラー丁幾 五、〇
 - ラーベンデル油 三、〇
 - 茴香油 一、〇
 - 薄荷油 一、〇
 - アルコール 九〇、〇

消毒收斂性

- 鹽 剝 六、〇
 - ミルラー丁幾 八、〇
 - アルコール 一五、〇
 - 桂皮水 一八〇、〇
- (七)
- 註 右含嗽劑ハ特ニ永毒性口内炎ノ患者ニ慣用セラル使用時ニ於テ若シ強度ニ過ギル場合ハ温湯ヲ以テ稀釋シテ用ユ

(八)

- ミルラー丁幾 一〇、〇
 - 沒食子丁幾 一〇、〇
 - メンタ 三滴
- 註 右三十滴ヲ一盞ノ水ニ混シテ用ユ

(九)

- ラタニヤ丁幾 一、〇
 - ミルラー丁幾 〇、五
 - 安息香丁幾 三、〇
 - アルコール 一〇、〇
 - メンタ 二滴
- 註 右二十滴一盞ノ水ニ混シテ用ユ

口腔、手指、器械、消毒劑

防腐性

チモール

一仄

アルコール

少量

蒸溜水

一匁

註 右含嗽料、口内炎其他疾病時
防腐ノ目的ニ償用セラル

(一〇)

(三)

安息香酸

一、〇

硼砂

五、〇

蒸溜水

一〇〇、〇

右含嗽料

サルチール酸

四、〇

蒸溜水

三〇、〇

アルコール

一五、〇

右含嗽料

(二)

(三)

ミルラー丁幾

一五、〇

地榆丁幾

二、五

薄荷油

五滴

註 右混和十五—二十滴ヲ一盞ノ
水ニ溶解シテ用ユ〔慢性咽頭
加答兒口内炎〕

同

同

ベルヒドロール

一、〇—三、〇

蒸溜水

一〇、〇

註 右混和液一—二食匙ヲ一盞ノ
水ニ混ジテ含嗽ス口内炎ニ効
アリ

クロール酸カリウム

五、〇

(ザリチール酸

〇、五)

薄荷油

二滴

水

三〇〇、〇

右含嗽劑

口腔、手指、器械、消毒劑

(一五)

(一七)

阿片丁幾

五、〇

酒精

罌粟舍利別

各一〇、〇

水

二〇〇、〇

註 右含嗽劑、咽頭加答兒口内炎
ニ償用セラル

過酸化水素水

一五〇、〇

水

三〇〇、〇

右含嗽料

口腔、手指、器械、消毒劑

(一八)

酒 精

各、五〇

註 右混和五—一〇滴ヲ四分ノ一

リ—テルノ微温湯ニ混シテ含

嗽料トス咽頭加答兒口内炎ニ

効アリ

(一九)

水 ラタニヤ丁幾

一〇、〇
五〇〇、〇

註 右含嗽料、慢性咽頭加答兒ニ
價用セラル

(二〇)

蒸溜水

八、〇
五〇〇、〇

註 右合劑十滴ヲ半コップノ水ニ

混シテ使用ス齒石、血石、除

去或ハ口腔内外科的手術後ノ

含嗽ニ用ユ

(二一)

丁香油

四、〇
〇、六

薄荷油

〇、五
七〇、〇

アルコール

五〇〇、〇

註 前者ニ同シ

(二二)

水 結晶マンガン酸加里

〇、〇五
五〇〇、〇

註 右含嗽料、急性咽頭加答兒、

口内炎、外科的手術後、ニ用

ユ防息ノ効ヲモ有ス

(二三)

薄荷水

三、〇
一〇〇、〇

蒸溜水

二〇〇、〇

右含嗽料

(二四)

蒸溜水

三、〇
二、〇
二〇〇、〇

右含嗽料

收斂性

鹽 剝

枯 礬

(二五)

醋酸礬土水

一〇、〇
一〇〇、〇

蒸溜水

一〇〇、〇

註 右混和液一食匙ヲ一盞ノ水ニ
混シテ用フ

口腔、手指、器械、消毒劑

口腔、手指、器械、消毒劑

(二六)

タンニン酸

五、〇

沃度丁幾

〇、五

ミルラー丁幾

〇、五

沃度カリウム

一、〇

薔薇水

一八〇、〇

註 右含嗽液一食匙ヲ一蓋ノ水ニ混ジテ含嗽ス

明礬

二、〇

ミルラーベンデル精

一、〇

水

四〇〇、〇

右含嗽料

一〇〇

(二八)

タンニン酸

二、〇

アルコール

一〇、〇

水

二〇〇、〇

註 カタル性口内炎、咽頭カタル、ノ含嗽料ニ適ス

(二九)

五倍子丁幾

一〇、〇

蒸溜水

二〇〇、〇

右含嗽料

(三〇)

鹽剝

四、〇

ミラー丁幾

三、〇

水

二〇〇、〇

右含嗽料

(三一)

重曹

四、〇

水

二、〇

註 小兒口洗料

一、二〇、〇

(三二)

硼酸

四、〇

硼砂

一、八

薔薇水

一、二〇

註 右含嗽料、殊ニ小兒口洗料ニ用ユ

(三三)

制酸性

重曹

一、〇

硼酸

三、〇

メソクタ

一、〇

水

一〇〇、〇

右含嗽料

口腔、手指、器械、消毒劑

一〇一

口腔、手指、器械、消毒劑

制酸防腐(バツクレー氏)

重曹	二、〇
硼砂	二、〇
チモール	〇、〇三
薄荷油	〇、〇三
酒精	一〇、〇
グツセリン	八、〇
桂皮水	二四〇、〇

右含嗽料

一〇二

(三五)

重曹	四、〇
硼砂	等量
結晶石炭酸	二、〇
グリセリン	三〇、〇
水	四五〇、〇

註 妊娠時又ハ酸過多ノ患者ニ用ヒテ浸蝕症豫防ノ効アリドール液ノ名アリ

制酸防腐

(三六)

硼砂	二、〇
重曹	二、〇
クロール亞鉛	二〇、二
メントール	〇、〇三
酒精	四、〇
グリセリン	八、〇
桂皮水	一五、〇

註 右蒸餾水ニテ適宜稀釋含嗽料トナス

口腔、手指、器械、消毒劑

(三七)

硼砂	二、〇
罌粟舍利別	
アルコール	各一〇、〇
水	二〇〇、〇

右含嗽料

一〇三

口腔、手指、器械、消毒劑

重曹	三〇、〇
安息香酸	二〇、〇
硼砂	五〇、〇
メンタ	六、〇
チモール	三、〇
ユーカリプトール	三、〇
アルコール	一〇〇、〇
グリセリン	二〇〇、〇
水	一〇〇〇、〇

右含嗽料

一〇四

(三九)	アルテヤ葉煎	二〇〇、〇
	阿片丁幾	五、〇

右爲含嗽料、温メテ用ユ

制酸防腐

重炭酸ソーダ	各五氏
硼酸ソーダ	
鹽酸ソーダ	各五氏
安息酸ソーダ	
撒里チール酸曹達	各7 27氏
ユーカリプタス	
ユーテリヤ	各7 480氏
ソニトール	

同

アルカチモール	四氏
安息酸ソーダ	各八氏
重炭酸ソーダ	
硼酸ソーダ	二氏
鹽酸ソーダ	
硫酸ソーダ	一氏
メントールチモール	
ユーカリプトール	1/8氏
バイナスブミリオ油	1/4氏
グリセリン	九〇、〇

防腐防息

桂皮油	六、〇
クロ、ホルム	六、〇
薄荷油	一、〇
石炭酸	六、〇
アルコール	一五〇、〇
硼酸	一八、〇
グリセリン	九、〇

註 右合劑三十滴チ一蓋ノ水ニ混シテ用ユ

口腔、手指、器械、消毒劑

一〇五

口腔、手指、器械、消毒劑

(四三) 過マンガン酸カリ 一、〇
水 一〇〇、〇

註 右含嗽液一食匙ヲ半コップノ
水ニ混シテ用ユ

防腐刺戟

(四四) 桂皮水 五〇、〇
生理的食鹽水 一〇〇、〇

右含嗽料、口洗料

防腐

(四五) キノゾール 〇、五
蒸溜水 一〇〇、〇

一〇六

防腐 (四六) 阿片丁幾 五、〇
水 五〇〇、〇

右含嗽料

(四七) ラタニヤ丁幾 各五〇、〇
五倍子丁幾

右含嗽料

(四八) サレツプ根煎 二〇〇、〇
阿片丁幾 十滴
單舍利別 二〇、〇

右混和含嗽料

(四九) クロール酸カリウム 二、〇
單舍利別 二〇、〇
水 一〇〇、〇

右含嗽料

(五〇) アルブール 一、〇
水 一〇〇、〇

右含嗽料

防腐收斂 (五一) トリクロール醋酸 一、〇
蒸溜水 二〇〇、〇

右含嗽料

口腔、手指、器械、消毒劑

(五二) サルビア葉浸 一五〇、〇
枯 礬 〇、五

右含嗽料

(五三) アルニカ丁幾 八、〇
グリセリン 八、〇
薔薇水 六〇、〇
蒸溜水 三〇〇、〇

註 右含嗽料、潰瘍性口内炎ニ効アリ

一〇七

口腔、手指、器械、消毒劑

(五四)

醋酸鉛 二、〇
阿片丁幾 八、〇
蒸溜水 一〇〇、〇
右含嗽料

(五五)

枯 礬 二、〇
アルコール 二、〇
ミルラ丁幾 四、〇
キナ丁幾 八、〇
薔薇蜜 六〇、〇
註 右合劑適宜水ニ混ジテ用ユ

一〇八

同 (ガリップ及マラセツツ氏)

(五六)

酒 精 三七〇、〇
石炭酸 一〇、〇
チモール 五、〇
桂皮油 一五、〇
アコニット丁幾 一〇〇、〇
消毒性含嗽劑(バトリック氏)

(五七)

石炭酸 各等量
グリセリン 各等量
薔薇水 各等量
註 右合劑五六滴ヲ半コツプアノ水ニ落シ使用ス

(五八)

サルチル酸 一、〇
磷酸曹達 三、〇
蒸溜水 三〇、〇

防腐收斂(加藤氏)

(五九)
タンニン酸 五、〇
沃度丁幾 二、〇
沃度加里 二、〇
薔薇油 一、〇
水 三〇〇、〇

第二節 器械並ニ手指消毒劑

2%リゾール水
(一) リゾール 一〇、〇
蒸溜水 五〇〇、〇
2-3%カルボール水
(二) 流動石炭酸 五一、〇
蒸溜水 五〇〇、〇
註 流動石炭酸ハ純石炭酸一%ニ對シ蒸溜水一〇グラムヲ加ヘタルモノナリ

口腔、手指、器械、消毒劑

一〇九

口腔、手指、器械、消毒劑

クレゾール水

クレゾール

一、〇号

(三) 酒精

一号

蒸溜水

四号—七号

二〇%石炭酸グリセリン

合劑

〇、六

(四) 蒸溜水

二四〇、〇

キウーバビアー丁幾適宜着色

註 バックレー氏ノ慣用治療器械消毒劑

一一〇

リゾール

一、〇

(五) 石炭酸

一、〇

重曹

〇、五

蒸溜水

五〇、〇

註 注射器其他器械消毒劑

(六)

アルコール

六〇、〇

ハイドロナフトール

一、二

註 器械消毒劑

(七)

一〇% ホルマリン水

五% 硼砂水

註 右混合液器械類消毒劑

一〇% ホルムアルデヒド液

ド液

二% 硼砂水又ハ重曹水

註 右混合液ハ小器械類ノ消毒ニ用ユ

手指消毒劑

千倍昇汞水

昇汞

一、〇

(九)

水

一〇〇〇、〇

着色劑

一—二滴

註 昇汞ハ熱湯ニ溶解セシムルカ又ハ等量ノ食鹽ヲ加ヘ水ニ溶解セシム

口腔、手指、器械、消毒劑

一一一

口腔、手指、器械、消毒劑

(一)

カリ石鹼 四〇〇、〇
滑石 一〇〇、〇
リゾフォルム 三〇、〇
ラベンデル油 五、〇

註 傷面消毒或ハ手指ノ消毒ニ適ス

(二)

カリ石鹼 三五〇、〇
蒸溜水 一五〇、〇
クレゾール 五〇〇、〇

註 器械消毒劑

一一二

(三)

七〇—八〇%アルコール
註 手指、器械消毒用

(三)

一—2%石炭酸水
手指消毒劑

(四)

一—2%リゾール水
手指消毒液

第二章 牙質治療用劑

第一節

窩洞消毒並ニ象

牙質知覺過敏症

治療劑

バックレー氏處方フェノールコン
パウンド

(一) メントール 一、三
チモール 二、六九
石炭酸 一、二〇

註 窩洞消毒、鎮痛、ノ外根管充
填前、拔髓直後ニ用ユ

牙質治療劑

キヤンホヒイニツク

石炭酸 九、〇

(二) 樟腦 二五、〇

アルコール 一、〇

註 窩洞消毒鎮痛劑

プリンツ氏處方

(三) 石炭酸 一、〇

チモール 一、〇

註 窩洞消毒、鎮痛劑

一一三

牙質治療用劑

(四) 石炭酸 一、〇
ウインターグリーン油 一、〇

(五) 石炭酸
抱水クロラール 各五、〇

(六) 石炭酸 一、〇
クロ、ホルム 三、〇
註 窩洞消毒鎮痛劑

(七) 石炭酸 四、〇
メント水 三、〇

(八) 石炭酸 五、〇
グリセリン 二、〇
註 窩洞消毒

バックレー氏處方
(九) 石炭酸 一、〇
樟腦 一、〇
ユーカリプトル 一〇、〇
註 窩洞貼付消毒

(ブラツク)(一、二、三)

(一〇) 石炭酸 一、〇
桂皮油 二、〇
ウインターグリーン油 三、〇

註 窩洞消毒、鎮痛、根管消毒劑

(二) 丁香油 一、〇
ウインターグリーン油 一、〇
スミス氏合劑(一、二、三)

(三) 石炭酸 一
桂皮油 二
丁香油 三

牙質治療用劑

ミラー氏處方

(三) 石炭酸 三、〇
丁香油 三、〇
炭酸コカイン 一、五

註 同

プリンツ氏

(四) アコニット丁幾 一二、〇
クロ、ホルム 一二、〇
蕃椒丁幾 四、〇
ピレトリ丁幾 一五、〇
丁香丁幾 一五、〇
註 窩洞貼付牙質過敏治療劑

牙質治療用劑

ブリントン氏

- (一五) フォルマリン 二、〇
- チモール 二、〇
- オユゲノール 二、〇

酸化亜鉛 適宜糊劑トナス

註 牙質過敏治療劑

バックレー氏

- (一六) クロール亜鉛 一、三
- 酒精 一五、〇
- クロ、ホルム 三〇、〇

註 窩洞貼付、牙質過敏治療劑窩洞消毒

所謂バックレー氏知覺鈍麻糊劑處方

- ネオセシン 一分
- チモール 一二分
- トリオキシメチレン 七七分

ワゼリン 適宜混和糊劑

トナシ

- 纖維性物質 少量
- 着色劑 少量

- (一八) クロール亜鉛 五、〇
- 石炭酸 五、〇
- アルコール 一〇、〇

註 窩洞消毒、牙質過敏治療劑

- (一九) オルトフォルム 二、〇
- オイゲノール 二、〇

適宜バスタートナス

註 同

- (二〇) フォルマリン 二、〇
- クロ、ホルム 二、〇

牙質治療用劑

- (二) 樟腦 各五、〇
- 抱水クロラール 各五、〇

- (三) 抱水クロラール 二、〇
- クロ、ホルム 二、〇

註 爲坭狀窩洞ニ貼付ス

- (三) 石炭酸 一、〇
- コカイン 一、〇

註 坭狀合劑窩洞貼付

牙質治療用劑

(二四) クロール亜鉛 一、二
 クロ、ホルム 三〇、〇
 アルコール 一五、〇
 註 窩洞貼付牙質過敏治療劑

(二五) メントール 一、〇
 クロ、ホルム 四、〇
 エーテル 一五、〇
 (二六) エーテル 二、〇
 薄荷精 二、〇

二一八
 (二七) 鹽酸モルヒネ 〇、一五
 アルコール 二、〇
 クロ、ホルム 一〇、〇
 右混和窩洞貼付

(二八) 苛性ソーダ 二、〇
 石炭酸 二、〇
 (二九) 鹽酸コカイン 〇、六
 トラガカント 適宜
 グリセリン 適宜
 爲糊劑窩洞貼付

(三〇) フォルマリン 各等量
 チモール 各等量
 ユージンオール 各等量
 酸化亜鉛 適宜爲坭狀
 右混和窩洞貼付

(三一) 阿片サフラン丁幾 二、〇
 エーテル精 二、〇
 メンタ油 二、〇
 右混和窩洞貼付

(三二) 三鹽化醋酸 一〇%ノ溶液
 コカイン 配合
 註 コカイン配合ハ刺戟性ヲ減ズルヲ目的トス

(三三) 苛性加里 三〇—二五%ノモノ
 或ハ一五%ノ潮解液
 註 右貼付シテ効ヲ奏スルコトアリ

(三四) 硝酸銀 一〇%溶液或ハ棒狀ノモノ
 註 乾燥状態ニアル患部ニ貼付スルニアリ

牙質治療用劑

牙質治療用劑

(三五) 石炭酸
丁香油

各等量

註 高洞貼付

ブリントン氏處方

(三六) クロール亞鉛
純酒精

二、〇
適宜糊劑

(三七) クロール亞鉛
クロ、ホルム
アコニツト

各等量

一一〇

(三八)

撒曹
薄荷油
茴香油
酒精

五、〇
一、〇
一、〇
一〇〇、〇

神翁氏處方

(三九)

苛性加里飽和液
トリクレゾール

一〇、〇
一〇、〇

同

(四〇)

苛性加里飽和液
トリクレゾール
重炭酸ソーダ

一〇、〇
五、〇
〇、五

フォック氏處方

(四一) フォルマリン
クロ、ホルム

二、〇
三、〇

(四二) パラフォーム
無水硫酸亞鉛

五、〇
一〇、〇

(四三) パラフォーム
板狀グツタベルカ

註 加熱煉和高洞貼布

(四四)

ヨードフォルム 一五、〇
酸化亞鉛 一五、〇
フォルマリン 一〇滴
安息香ナトリウム 〇、二四
桂皮油 一八、〇

バックレー氏處方

(四五)

コカイン 一、三
クロ、ホルム 八、〇
エーテル 三〇、〇

註 鎮痛劑トシテ深在高洞ニ貼付ス

牙質治療用劑

一一一

牙質治療用劑

(四六) 水酸化加里
石炭酸

等量

註 塗布料

(四七) 鞣酸
グリセリン

四、〇
一三〇、〇

註 塗布料

(四八) 炭酸カリ
グリセリン

一、〇
二、〇

註 塗布料

加藤氏處方

(四九) 結晶沃度
無水グリセリン

三、〇
二、四

註 牙質ヲ變色セシムル恐レアル
ニヨリ臼齒ニ應用スルモノト
ス

内服

(五〇) 硫酸モルフイネ
硫酸アトロフィン

〇、〇〇七五
〇、〇〇四

註 右手術前三十分頓服

貼布(加藤氏)

(五一) カンフル丁幾
生理的食鹽水

五、〇
四、〇

註 右綿花ニ付シテ貼付ス

内服藥

(五二) 臭素加里
苦味丁幾

四、〇
二、〇

註 一日三回分服、本劑ハ全身的
鎮靜劑トシテ用ユ

(五三) 水

一〇〇、〇

内服藥

(五三) 抱水クロラール
單舍利別

〇、六
四、〇
六、〇

註 本劑ハ不眠症ニヨル過敏ヲ起
セル患者ニ對シ醉眠劑ノ効アリ

以上各處方ノ外本症療法ニ使用
スル藥品名ヲ舉グレバ次ノ如シ
(一) オイルクロロブ
(二) ユーカリプタス油
(三) タンニン及精腦グリセリン
合劑

牙質治療用劑

牙質治療用劑

- (四) 精腦、エーテル性液
- (五) 酸化カルシウム
- (六) 薄荷油
- (七) チモール
- (八) 硫酸モルFINE及ゴム精腦
- (九) トノ等量合劑
- (一〇) 石炭酸、精腦ノ合劑
- (一一) エチールクロライド
- (一二) クロレトン
- (一三) ユーケイン

一二四

- (三) トロバコカイン
- (四) バポケイン
- (五) 等ナリ

飽和液

註 右合劑ヲ綿球ニ浸シ知覺過敏
高洞内ニ貼付シタルマ、熱氣
ヲ送り乾燥状態タラシメ再ビ
此レヲ繰リ返ス時ハ知覺ハ鈍
麻シ高洞開鑿ヲ行ヒ得ルニ至
ル

第二節 窩洞乾燥劑及裏裝劑

- (一) 薄荷精 五、〇
- アルコール 八、〇
- 註 窩洞乾燥劑
- (二) 薄荷精 五、〇
- クロ、ホルム 八、〇
- 註 窩洞乾燥劑
- (三) 薄荷精 二、〇
- エーテル 一五、〇
- クロ、ホルム 一〇〇、〇
- 註 窩洞乾燥劑

牙質治療用劑

一二五

- (四) ガムサンダラツク 一五、〇
- ハイドロナフトール 二、〇
- アルコール 一〇〇、〇
- 註 窩洞裏裝劑ニシテ、深在高洞、
接近髓窩洞ニ用ユ
- (五) カナダバルサム 四、〇
- ハイドロナフトール 一、〇
- 註 深在高洞裏裝劑
- (六) 松脂 四、〇
- 石炭酸 三、〇
- クロ、ホルム 三、〇
- 註 窩洞塗布裏裝

牙質治療用劑

松 脂

五、〇

(七)

エーテル

三、〇

アルコール

三、〇

註 窩洞裏裝

(八)

クロールバーチアー 一〇、〇

アリストール 一、〇

註 窩洞裏裝

(九)

乳香末

四、〇

サンダラツク

四、〇

アルコール

一、二、〇

註 窩洞裏裝

一二六

チモール

〇、六

(一〇)

磷酸カルシウム 三、二、〇

註 接近髓窩洞裏裝、齒髓被帽劑

(二)

サンダラツク

二、〇

アルコール

五、〇

註 窩洞裏裝

(三)

磷酸カルシウム 一〇、〇

ハイドロナフトール 一、〇

アルコール 一、〇

註 裏裝用

(三)

樟腦護膜

六、〇

コーバルゴム

二五、〇

エーテル

五〇、〇

註 窩洞裏裝

(四)

ダツタベルカ

飽和液

クロ、ホルム

カナダバルサム

クロ、ホルム溶液

(五)

トリニトロセルローゼ

メチールアルコール

右溶液窩洞裏裝劑

(六)

牙質治療用劑

(一七)

乳香末

四、〇

クロ、ホルム

註 糊狀トシテ窩洞裏裝用

(一八)

純磷酸カルシウム 二〇、〇

石炭酸合劑(バツクレー氏)

適宜爲糊狀

註 窩洞裏裝接近髓用

(一九)

純磷酸カルシウム 二〇、〇

丁香油 適宜爲糊狀

註 同

一二七

牙質治療用劑

(二〇)

純磷酸カルシウム 二〇、〇
ユージノール 適宜
アリストール又ハ
ユーロフェン 少量

註 爲糊狀接近髓窩洞裏裝

(二一)

酸化亞鉛 二、〇 粉
酸化マグネシウム 一、〇 末
磷酸ナトリウム 四一、〇
磷酸 二〇、〇 液
蒸溜水 三九、〇

註 接近髓窩洞裏裝用

磷酸セメント

(二三)

酸化亞鉛 九、〇 粉
硼砂 一、〇 末
硅酸 二、〇 末
磷酸 二〇、〇 末
磷酸ナトリウム 四一、〇 液
蒸溜水 三九、〇

註 乳齒又ハ接近髓窩洞裏裝

一二八

第三節 齒牙漂白劑

酸化漂白劑

(一) 過酸化曹達液

註 有機染色物ヲ除去シ漂白セシムル場合ニ用ユ、腐蝕性大ナルガ故ニ注意ヲ要ス

(二)

アルフオゾン

(三)

アセトブロン

牙質治療用劑

(四)

二五%エーテル性過酸化水素

註 膿汁、蛋白質其他腐敗物ヲ分解セシメ漂白セシム腐蝕力大ナルガ故ニ注意ヲ要ス

(五)

鹽化アルミニウム
三%過酸化水素水

註 礦物性沈着物ヲ除去セシメ漂白セシムルニ用ユ

(六)

稀酸溶液

一二九

(七) 鹽化アルミニウム
ラバラークエース液

註 ラバラークエース液處方

漂白粉 八、六

炭酸ソーダ 七、二

蒸溜水 六〇、〇

(一〇) 食鹽液ノ電氣分解法

還元漂白劑

硫酸曹達 一〇、〇

硼酸 七、〇

註 合劑ヲ高洞内ニ貼付シ水ヲ加

ヘ濕潤セシメストツピンゲンニ

テ密封シ二十四—四十八時間

放置ス

(八) 鹽酸石灰
稀醋酸

(九) 粉末明礬
ラバラークエース液

第三章 齒髓疾患並ニ根管治療劑

第一節 齒髓炎鎮痛劑

(一) 石炭酸 三、〇

鹽酸コカイン 一、五

丁香油 三、〇

註 右高洞貼付

(二) 丁香油 四、〇

鹽酸コカイン 一、〇

註 高洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(三) アルコール 二、〇

クロ、ホルム 一〇、〇

註 右混和綿球ニ浸シテ高洞貼付

鹽酸モルヒネ 一、〇

クレオソート 一、〇

クロ、ホルム 一、〇

安息香丁幾 三、〇

註 右合劑綿球ニ浸シ高洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一三三

(五)

鹽酸モルヒネ 〇、五
石炭酸 一、〇
グリセリン 五、〇
アルコール 五、〇
薄荷油 五、〇

註 右綿球ニ浸シ窩洞貼付

(六)

鹽酸モルヒネ 〇、三
阿片丁幾 八、〇

註 右混和窩洞貼付

(七)

鹽酸モルヒネ 〇、五
醋酸 〇、一
クレオソート 〇、五
クロ、ホルム 一〇、〇

註 右混和綿球ニ浸シ窩洞貼付

(八)

鹽酸コカイン 二、〇
樟腦 一〇、〇
抱水クロラール 一〇、〇

註 右窩洞貼付

(九)

石炭酸 五、〇
抱水クロラール 五、〇

註 窩洞貼付

(一〇)

鹽酸モルヒネ 二、〇
鹽酸コカイン 二、〇
丁香油 適宜

註 窩洞貼付

(二)

樟腦 五、〇
抱水クロラール 五、〇

註 右窩洞貼付

(三)

石炭酸 一、〇
クロ、ホルム 三、〇

註 窩洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一三三

(三)

オルトフォルム 二、〇
タンニングリセリン 適宜

註 窩洞貼付

(四)

醋酸モルフィン 〇、五
石炭酸 四、〇
クロール亞鉛 四、〇
沃度丁幾 二〇、〇
グリセリン 二〇、〇

註 右合劑窩洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(一五)

鹽酸モルフイネ 一、〇
白砒石 二、〇
クレオソート 適宜

註 右混和爲砒石泥膏帽針頭大ノ

モノヲ棉花ニ塗布シテ窩洞内

ニ挿入シ鎮痛後速ニ除去ス

(一八)

鹽酸コカイン 二、〇
オイゲノール 四、〇
石炭酸 二、〇
サフラヌ油 四、〇

一三四

(一六)

醋酸モルフイネ 一、二
丁香油 八、〇
エーテル精 八、〇

註 窩洞貼付

(一七)

醋酸モルフイネ 一、二
クレオソート 八、〇

(二〇)

抱水クロラール 一、〇
クレオソート 五、〇

註 右坭狀劑窩洞貼付

(三)

醋酸モルフイネ 〇、一二
石炭酸 一、〇

(三)

阿片丁幾 五、〇
クレオソート 五、〇
クロ、ホルム 五、〇

註 窩洞貼付

(三)

抱水クロラール 〇、五
グリセリン 一、〇
蒸溜水 一、〇

註 窩洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(二四)

阿片丁幾 二、〇
丁香油 二、〇
ミルラー丁幾 一〇〇、〇

(二五)

桂皮油 二、〇
石炭酸 一、〇
ウインターグリーン油 三、〇

註 窩洞貼付

一三五

(二六)

丁香油 一、〇
 アコニツト丁幾 六、〇
 ビレリト丁幾 六、〇
 クロ、ホルム 一、〇
 樟 腦 八、〇
 註 窩洞貼付

(二七)

石炭酸 二、〇
 樟 腦 一、〇
 鹽酸コカイン }
 グリセリン } 飽和液適宜

(二八)

石炭酸 飽和液
 鹽酸コカイン 飽和液

(二九)

メント 飽和液
 クロ、ホルム

(三〇)

丁香油 三、〇
 メンタ 〇、五

(三一)

石炭酸 三、〇
 チモール 二、〇
 メンタ 一、〇
 註 窩洞貼付

(三一)

醋酸モルヒネ 一、二
 丁香油 八、〇
 註 窩洞貼付

(三二)

チモール 一、〇
 樟 腦 一、〇
 註 窩洞貼付

(三四)

石炭酸 二、〇
 丁香油 二、〇
 註 窩洞貼付

(三五)

チモール 飽和液
 アルコール 飽和液
 註 窩洞貼付

(三六)

クレオソート 二〇、〇
 樟 腦 一、〇
 註 窩洞貼付

(三七)

オルトフォルム 爲坭狀
 メントール 註 窩洞貼付

(三八)

メントール 二、〇
 安息香丁幾 一五、〇
 丁香油 六、〇
 註 窩洞貼付

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(三九) 鹽酸コカイン 一、三
クロ、ホルム 八、〇
エーテル 三〇、〇

註 窩洞貼付

(四〇) 丁香油

註 綿球ニ浸シタルモノヲ窩洞内ニ貼付シ乾燥空氣ヲ送り綿球ノ乾燥状態ニ至ル迄持續ス (ツヨソソソ氏)

(四一) ユーロフェーン 二五、〇
ラノリン 七五、〇

註 鎮痛劑(ハラン氏)

(四二) メントール 一、三
チモール 二、六九
石炭酸 一、二、〇

註 窩洞貼付(バックケレール氏石炭酸合劑)

(四三) 硫酸マグネシウム 二〇、〇
稀鹽酸 二、〇
蒸溜水 二〇〇、〇

註 右混和一日二回分服(二日分) 下劑

(四四) 人工カルルス泉鹽 一五、〇
苦味丁幾 一、〇
蒸溜水 一〇〇、〇

註 右混和爲一日量三回分服 下劑

(四五) 硫酸マグネシウム 一〇、〇
苦味丁幾 二、〇

註 右混和爲一日量三回分服 下劑

(四六) 硫酸マグネシウム 五、一〇、〇

註 頓服 下劑

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(四七) アンチピリン 一、八
フェナセチン 一、八
硫 規 〇、九

註 右爲六包一日二回服用 鎮痛劑

(四八) アンチカムラヤ 八、〇
ブランデー酒 一、二〇、〇
橙皮舍利別 一、二〇、〇

註 右三四時間毎ニ食匙宛内用 鎮痛劑

齒髓液患並ニ根管治療劑

一四〇

(四九)

アンチヘブリン酸 〇、五
單舍利別 一五、〇
ウイスキー 九〇、〇

註 半量ヲ服用シ二時間後半量ヲ
服用ス(ハーラン)鎮靜劑

(五〇)

アンチヘブリン酸 〇、八
註 分二包二時間毎ニ一包宛服用

(五一)

鹽酸モルヒネ 〇、〇一—〇、〇〇五
フエナセチン 〇、三
註 右混和爲一包激痛時頓服

第二節 齒髓被帽(覆罩)治

療劑

(一) 石炭酸 二、〇
薄荷水 一八〇、〇

註 治術着手前口腔内、窩洞内洗
滌防腐液

(二) アルコール 四、〇
桂皮水 一八〇、〇

註 口腔内洗滌防腐液

薄荷油 一、三

(三) チモール 二、六九

石炭酸 一二、〇

註 被帽術前窩洞内貼付、消毒麻
痺劑(バツクレー、フイノー
ルコンパウンド)

鹽酸モルヒネ 二、〇

阿片丁幾 二、〇

石炭酸 二、〇

クロ、ホルム 二、〇

安息香丁幾 八、〇

註 露出齒髓面貼付、防腐鎮靜

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一四一

(五) ヨードホルム 二、〇

石炭酸 四、〇

ゴム樟腦 三、〇

註 被帽前齒髓面貼付、防腐鎮靜

鹽酸コカイン 二、〇

石炭酸 二、〇

阿片丁幾 二、〇

サツサfras油 四、〇

註 齒髓面貼付防腐鎮靜

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一四二

(七)

チモール 〇、六
磷酸カルシウム 三三、〇
丁香油又オユゲノール 適宜爲糊劑

註 被帽劑(バツケレー氏)

(八)

磷酸カルシウム 二〇、〇
アリストール 三三、〇
丁香油 適宜爲糊狀

註 被帽劑

(九)

アスベスト纖維
丁香油 註 被帽劑

(一〇)

コロジオン
アリストール

註 被帽劑

(一一)

酸化亞鉛 一〇、〇
アリストール 一、〇
オイゲノール 適宜糊劑

註 被帽劑齒髓ノ露出セザルモノニ用ユ

(一二)

酸化亞鉛 一〇、〇
ユーロフェン 一、〇
丁香油 適宜爲糊劑

註 齒髓ノ露出セザルモノニ用ユ

(三)

磷酸カルシウム 一〇、〇
ユーロフェン 二、〇
オイゲノール 適宜糊劑

註 齒髓被帽劑

(四)

ガツタバーチャ 一、〇
クロ、ホルム 適宜爲糊狀

註 クローバーチャ被帽劑

(五)

ヨードホルム 二、〇
石炭酸 〇、三
メンタ 五滴
グリセリン 適宜爲坭狀

註 被帽劑

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一四三

(一六)

コロジウム 三、
石炭酸 〇、三
ユーロフェン 一、〇
エーテル 適宜

註 被帽劑

(一七)

ヨードホルム 1/25 クレーン
樟 腦 1/4 ドラム
アルコール 一オンス
セルロイド(溶解セルモノ) 適宜爲糊狀

註 露出髓被帽劑(エー、ピー、ジョンソン氏)

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(一八)

ヨードホルム 一〇、〇
 カオリン 一〇、〇
 結晶石炭酸 八、〇
 グリセリン 適宜爲糊劑
 註 被帽劑(バスキス氏)

(一九)

硼酸 一、〇
 白蠟 一、〇
 巴旦香油 二、〇
 パラフィン 二、〇
 註 齒髓被帽劑(ミリンダ氏)

第三節 齒髓失活劑

(一)

亞砒酸 四、〇
 コカイン 〇、六
 チモール 〇、三
 桂皮油又ハ丁香油 〇、六
 註 糊劑トナシ之レニ綿纖維ノ細片ヲ加ヘ纖維性糊劑トシテ使用ス(パツクレー氏)

(二)

亞砒酸 一、〇
 コカイン 一、五
 チモール 〇、三
 丁香油 適宜
 註 綿纖維ノ細片ヲ加ヘ纖維糊劑トナシテ使用ス

(三)

亞砒酸 〇、六
 明礬 〇、六
 チモール 〇、六
 丁香油 適宜

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(四)

亞砒酸 一、二五
 鹽酸コカイン 二、五
 カンフルカルボル劑 適宜爲坭劑
 註 無痛失活劑、本劑ヲ綿球ニ付シテ使用ス

(五)

亞砒酸 二、〇
 コカイン 一、三
 グリセリン 適宜
 註 右爲糊劑(カーク氏)

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(六)

亞砒酸 四、〇
 コカイン 一、三
 メントール 〇、三
 ラノリン 適宜

註 煤烟着色爲糊劑(バツクレー氏)

(七)

亞砒酸 一、三
 コカイン 一、三
 メントール 〇、三
 グリセリン 適宜

註 爲糊劑(カーク氏)

(八)

亞砒酸 一、三
 コカイン 一、三
 丁香油 適宜

註 爲糊劑(ミラー氏)

(九)

亞砒酸 〇、三〇
 醋酸モルフイン 〇、六〇
 石炭酸 適宜

註 綿纖維ニ浸潤セシメ使用ス(フラツグ氏)

一四六

(一〇)

亞砒酸 一、〇
 コカイン 〇、五
 オルトフォルム 〇、五
 丁香油オイゲノールグリセリン等何レカ適宜爲糊劑

(二)

亞砒酸 一、〇
 鹽酸コカイン 〇、四
 ラノリン 適宜

註 綿纖維ニ浸潤セシメ貼付(ハ一ラン氏)

(三)

亞砒酸 二、〇
 鹽酸コカイン 二、〇
 メントール 一、〇
 グリセリン 適宜

註 (プリンツ氏)

(三)

亞砒酸 二、〇
 コカイン 一、〇
 グリセリン 適宜

註 (プリンツ氏)

齒髓疾患並ニ根管治療劑

一四七

(一四)

亞砒酸 二、〇
 硫酸モルフイネ 一、〇
 クレゾール 適宜爲糊劑
 註 貼付後十二—二十四時間密閉
 (ホワイト氏)

(一六)

亞砒酸 一、〇
 醋酸モルフイネ 一、〇
 クレゾール 適宜糊劑
 註 大人ニ於テハ二十四時間貼付
 小兒ニ於テハ十時間貼付ス
 (ガーレットソン氏)

(一五)

亞砒酸 一、〇
 硫酸モルフイネ 二、〇
 クレゾール 適宜爲糊劑
 註 二十四時間貼付密閉(ピアース氏)

(一七)

亞砒酸 二、〇
 醋酸モルフイネ 一、〇
 クレゾール 適宜爲糊劑
 註 大人ニ對シテハ十二乃至二十四時間小兒ニ於テハ八乃至十二時間貼付(ホワイト氏)

(一八)

亞砒酸 二、〇
 鹽酸ココイン 二、〇
 メントール(結晶) 〇、五
 グリセリン 適宜爲糊劑
 註 (カークス氏)

(二〇)

亞砒酸 〇、五
 タンニン酸 〇、二
 醋酸モルフイネ 一、〇
 石炭酸 適宜
 綿纖維 適宜
 註 失活纖維(ゴーガス氏)

(一九)

亞砒酸 一、〇
 コカイン 四、〇
 ラノリン 五、〇
 註 二十四時間貼付放置ス(カーク氏)

齒髓疾患並ニ根管治療劑

- (一) 亞砒酸 一、〇
- 鹽酸コカイン 一、〇
- ヨードフォルム 〇、五

丁香油又ハ桂皮油

適宜爲糊劑

註 四十八時間貼付後タンニン酒精液ヲ貼付シ八日間放置齒髓除去後直ニ充填ス(ハーラン氏)

- (二) 亞砒酸 二、〇
- 鹽酸コカイン 二、〇
- オルトフォルム 二、〇
- グリセリン 適宜爲糊劑

一五〇

- (一) 亞砒酸 一、〇
- 鹽酸コカイン 一、〇
- チモール 〇、五
- 石炭酸 適宜爲糊劑

- (二) 亞砒酸 一、〇
- チモール 〇、五
- オイゲノール 適宜爲糊劑

- (三) 亞砒酸 二、〇
- ノボカイン 二、〇
- グリセリン 適宜爲糊狀

第四節 齒髓麻痺劑

- (一) 鹽酸コカイン 〇、三
- 食鹽 〇、〇六
- 石炭酸 〇、一三
- 蒸溜水 三〇、〇

註 注射麻酔劑(髓腔内注入)

- (二) ノボカイン 〇、一
- 生理的食鹽水 一〇、〇
- ズブラレニン(一%) 五滴

註 一%ノノボカイン注射麻酔劑

齒髓疾患並ニ根管治療劑

- (一) 食鹽 二、〇
- 蒸溜水 一〇〇、〇
- 鹽酸コカイン 一、〇
- 鹽酸モルヒネ 〇、〇五

註 注射麻酔劑

- (二) ノボカイン 〇、二五
- 生理的食鹽酸水 五〇、〇
- ズブラレニン(一%) 五滴

註 注射麻酔劑(〇、五%ノボカイン液)

(五) 第一液

鹽酸コカイン 一、〇
 アルコホール(六〇%) 二、〇
 重曹 一、〇
 ザロール 〇、〇五
 新製蒸溜水 八、〇

第二液

メントール 〇、〇二
 ストヴァイン 〇、〇二
 石炭酸 〇、〇二
 コカイン 〇、〇〇二五
 アドレナリン 〇、〇〇五

註 塗布麻痺劑、右第一液ヲ綿球ニ含マシメ五乃至十分間鼻腔内ニ貼付シ後除去シ第二液ヲ同様五乃至十分間貼付シタル後拔髓ニ着手ス(レイノール氏法)

(六)

ネルヴオチデイン 一、〇
 グアヤコール 〇、五
 コカイン 〇、五

註 右爲糊劑單根齒ニ於テハ窩洞ニ貼付四乃至五時間後拔髓ニ着手ス複根齒ニ於テハ六七時間乃至二回貼付後拔髓ニ着手ス(エックストレーム氏法)

(七)

第一劑
 アラビヤゴム末 四、〇
 硫酸亞鉛 一五、〇
 蒸溜水 三〇、〇

第二劑
 第一劑濾過液 八、〇
 ナーボンデーン 〇、六
 鹽酸コカイン 〇、六

註 糊劑トナシ露出髓面ニ貼付シ二十四時間後拔髓ニ着手ス

第五節 齒髓乾屍劑、液化劑、

殘留齒髓破壞劑

乾屍劑

- (一)
- | | |
|--------|-----|
| パラフォルム | 一、〇 |
| チモール | 一、〇 |
| 酸化亞鉛 | 二、〇 |
| グリセリン | 二、〇 |
- 註 齒髓失活後貼付密閉

- (二)
- | | |
|--------|-------|
| フォルマリン | 一、〇 |
| コカイン | 一、〇 |
| チモール | 一、〇 |
| 酸化亞鉛 | 四、〇 |
| グリセリン | 適宜爲糊劑 |
- (三)
- | | |
|--------|-------|
| フォルマリン | 二、〇 |
| チモール | 二、〇 |
| メントール | 〇、二 |
| 酸化亞鉛 | 四、〇 |
| ワゼリン | 適宜爲糊狀 |

(四)

- | | |
|-------|-------|
| タンニシ酸 | 一、〇 |
| チモール | 一、〇 |
| グリセリン | 適宜爲糊狀 |
- 註 (ファース氏)

齒髓液化劑

- (六)
- | | |
|--------|------|
| ババイン | 〇、三 |
| 純グリセリン | 〇、二五 |
| 二百倍鹽酸 | 〇、三 |
- 註 右合劑一、二、滴ヲ貼付シ數時間放置ス

(五)

- 明 礬
- | | |
|---------|-----|
| チモール | 各等量 |
| パラフォルム | |
| ヨードフォルム | |
| 酸化亞鉛 | |
| グリセリン | |
- 註 (シヨーンング氏)

殘留齒髓破壞劑

- (七)
- | | |
|--------|--|
| 過酸化曹達 | |
| 純アルコール | |
- 註 右糊劑トナシ細小根管內ニ透入シ破壞後二%硫酸ヲ以テ中和ス

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(八) 五〇%純硫酸ニテ破壊後重曹水ニテ中和

(九) 五〇%硫基石炭酸ヲ根管內送入破壊後重曹液中和

(一〇) 水酸化ナトリウノ強溶液 (バックレー氏)

齒髓液化

バベイン 二、〇

(二) グリセリン 二、〇

稀鹽酸(百倍) 二、〇

註 (ハーランド氏)

殘存齒髓硬變

フォルマリン

(三) 酒精 一〇、〇

コカイン 適宜

(三) タンニン酸 二、〇

アルコール 適宜爲糊狀

(四) 昇汞 一、〇

チモール 一、〇

石炭酸 適宜爲糊狀

齒髓液化

(一五) アンチフォルム 一、〇

蒸溜水 五、〇

齒髓乾屍劑(鈴木俊氏)

枯 礬 八、〇

酸化亞鉛 二、〇

トリクレゾール 一、〇

(一六) 無水硫化亞鉛 二、〇

ウイニターグリーン油

グリセリン 二、〇

齒髓疾患並ニ根管治療劑

第六節 拔髓後鎮痛防腐

劑竝ニ止血劑

(一) 石炭酸

丁香油

(二) ユージノール

註 防腐鎮痛

石炭酸 九、〇

樟 腦 二五、〇

アルコール 一、〇

註 鎮痛防腐(キアンホロイニツク)

齒髓疾患並ニ根管治療劑

石炭酸 一、〇

(五) 桂皮油 二、〇

ウィンターグリーン油三、〇

註 (ブラツク氏一、二、三)

メントール 一、三

チモール 二、六九

(六) 石炭酸 一二、〇

註 鎮痛消毒、バツクレール處方ニ

シテ同氏ノ慣用スル、フイーノールコンパウンド

(七) 九五%石炭酸

註 止血劑

(八) 五〇%硫基石炭酸

註 止血劑

一〇〇〇倍ノアドレナリン

根尖端部貼付壓迫

註 止血劑

第七節 根管消毒劑

バツクレール氏フォルモクレゾール

(一) クレゾール 四、〇

フォルマリソ水 四、〇

バラフォルム糊劑

バラフォルム 一、〇

チモール 二、〇

(二) 明礬 一、〇

酸化亞鉛 二、〇

クレオソート 適宜

(三)

クレゾール 二、〇

フォルマリソ 二、〇

ユーカリプタス油 一、〇

薄荷油 一、〇

トリクレゾール 一、〇

ユーカリプトル 二、〇

薄荷油 一、〇

(四)

(五)

トリクレゾール 二、〇

フォルマリソ 一、〇

齒髓疾患並ニ根管治療劑

- (六) チモール 〇、一八
 ユーカリプトル 四、〇〇
 薄荷油 〇、一三

註 バックレー氏處方

ユーカリプトル合劑ト稱シ
 根管充填劑送入前根管ノ濕潤
 ノ目的ニ使用ス

- (七) ブラック合劑 一、〇
 丁香油 一、〇
 石炭酸 二、〇
 ゴールテリヤ油 三、〇

一六〇

- (八) モノフェノールカンフル 一、〇
 カンフル 二、〇
 無水アルコール 三、〇

- (九) アリストール 二、〇
 桂皮油 二、〇

- (一〇) 石炭酸 四、〇
 チモール 四、〇
 カンフル 二、〇
 註 (プリンツ氏)

フェノールソジック(プリンツ氏)

- (二) 石炭酸 五、〇
 苛性ナトリウム 一、〇
 水 五、〇

註 根管消毒

- (三) 二〇—二五%過酸化曹達液
 貼付後硫酸ヲ以テ中和ス

註 根管消毒、並ニ漂白ノ効アリ
 (カーク氏)

- (三) チモール 〇、六
 ユーカリプトル 四、〇

齒髓疾患並ニ根管治療劑

硫基石炭酸(バックレー氏)

- (一四) 石炭酸 四、五
 硫 酸 四、〇
 蒸溜水 一、五

註 右合劑ヲ以テ根管消毒擴大後
 重曹水ヲ以テ中和ス

- (一五) 二五%過酸化水素水
 註 根管消毒

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(一六)

グリセリン 一、二、〇
タンニン酸 一、二、〇
醋酸モルヒネ 六、〇
ヨードフォルム 二、〇

註 右合劑ヲ綿織維ニ含マシメ根管内貼付(ゴークス)

(一七)

ヨードフォルム 一、〇
タンニン酸 三、〇
グリセリン 少量爲坭狀

註 右合劑ヲ綿織油ニ付着根管内貼付(ゴークス)

(一八)

ヨードフォルム 一六二
樟腦 1/25 グレーン
酒精 1/4 ドラム
一オンス

註 根管消毒劑(エー、ビー、ジョ
ンソン氏)

(一九)

ヨードフォルム
丁香油
ユーカリプタス油 各等量

註 根管消毒劑(ピアース氏)

(二〇)

結晶ヨード 二、〇
酒精 二、〇

註 根管消毒劑(ゴークス)

(二一)

ヨードホルム 五、〇
ユーカリプタス油 五、〇
ワセリン 四〇、〇

註 根管消毒劑

(二二)

昇汞 一〇、〇
酒石酸 六、〇
蒸溜水 二〇〇、〇

註 根管消毒劑

(二四)

石炭酸 三、〇
チモール 一、〇
タンニン酸 一、〇
グリセリン 一、〇

註 根管消毒劑

(二三)

ヨードホルム 一〇、〇
石炭酸 一〇、〇

註 根管消毒劑

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(二五)

クレオソート 五、〇
ユーカリプトル 一、〇
ヨードホルム 適宜

註 根管消毒劑

クレオソートホルマリン(加藤氏)

クレオソート 二、五

フォルマリン 二、五

アルコール 〇、七

カリ石鹼 〇、五

(二六)

(二七)

(カラハン氏)
五〇、%硫酸ヲ以テ根管消
毒ヲ行ヒタル後一〇、%重
曹水ニテ中和ス

(レイン氏)

(二八)

三%過酸化水素水
五百倍昇汞水

註 根管消毒、清掃劑

第八節 根管充填劑

パラフォルム

一、〇

チモール

一、〇

グリセリン

一、〇

酸化亜鉛

一、〇

早塚氏根管充填劑

第一劑

グツタペルカ

二〇、〇

クロ、ホルム

二〇、〇

オイカリプトル

二〇、〇

爲坭狀

(二)

ヨードフォルム

四、〇

ザロール

一、〇

丁香油

一、五

パラフィン

二〇、〇

齒髓疾患並ニ根管治療劑

第二劑

- 三酸化蒼鉛 四、〇
- 無水硫酸亞鉛 二、〇
- キセロホルム 二、〇
- チモール 二、〇
- 酸化亞鉛 四、〇
- 硫動バラフィン 適宜

爲糊狀

右第一劑及第二劑ヲ混和シア
スベスト纖維ヲ加ヘタルモノ
ヲ用ユ

(五)

- グツツタベルカ
- バックレー氏ユーカリプト
ール合劑

註 グツタベルカノ細片ヲ加熱シ
タル後ユーカリプトール合劑
中ニ溶解セシメタルモノヲ用
ユ(バックレー氏)

(六)

- トリクレゾール 二、〇
- フォルマリン 二、〇
- チモール 〇、三 適宜爲
磷酸石灰 三三、〇 坭狀

註 根管充填劑(バックレー氏)

シヨイエル糊劑

(七)

- 酸化亞鉛 八、〇
- 硫酸亞鉛 二、〇
- クレゾール 三、〇
- フォルマリン 二、〇
- オイゲノール 一、〇
- グリセリン 適宜爲糊劑

註 根管充填劑糊劑

(八)

- 酸化亞鉛 二、〇
- チモール 二、〇
- バラフォルム 一、〇
- 明礬 一、〇
- クレオソート 適宜

註 根管充填劑(バーチャード)

(九)

- クロールバーチャ
- 真綿纖維

註 根管充填劑(オットレングイ
氏)

(一〇)

クロロパーチヤ
アリストール

綿纖維

適宜爲糊狀

註 根管充填劑

(二)

クロロパーチヤ
ヨードフォルム

綿纖維

適宜

註 根管充填劑

(三)

バラフォルム
ワツクス

右合劑根管充填料

(三)

酸化亞鉛

ヨードフォルム

木炭末

丁香油

一、〇
二、〇
一、〇
適宜

註 (プリンツ氏)

(四)

粉末 酸化亞鉛

硫酸亞鉛

煉液

クレゾール
フォルマリ
ン
オイゲノール

一、〇
一、〇
三、〇
二、〇
八、〇

註 右粉末ヲ煉和シ用ユ(プリンツ氏)

(一五)

コロフォオニウム(樹脂)

九〇、〇グレーン

クロロホルム 三、〇ドラム

註 右混和溶液トナス(カラハン氏)

(一七)

ユーカパーチヤ

ガツタパーチヤポイント併用

註

ユーカパーチヤハガツタパーチヤチユーカリプトルニ溶解セルモノ

第一(液)

フォルマリ
ン

クレオソート

(一六) 第二(粉末)

明礬

單寧酸

アリストール

一、〇
二、〇
二、〇
〇、五
一、五

(一八)

クロロパーチヤ

ガツタパーチヤポイント併用

註

クロロパーチヤハガツタパーチヤヲクロ、ホルムニ溶解セシメタルモノナリ

齒髓疾患並ニ根管治療劑

(一九)

バラフオルム

桂皮油

註 フオルムバアチヤト稱シブレ

ヤー氏ノ償用スルモノナリ

バラフイン

チモール

註 プリンツ氏フィツシヤー氏等

ノ償用スルモノナリ

一七〇

酸化亜鉛

チモール

トリクレゾール

煉液 フオリマリン

グリセリン

註 右煉和根管充填劑オキシバラ

ト稱セラル

(二〇)

(二〇)

粉末 酸化亜鉛

バラフオルム

一〇、〇

硫酸亞鉛

クレオソート

フオルマリン

丁香油

蒸溜水

註 右煉和根管充填劑

バラフイン

ザロール

註 根管充填劑

(二四)

バラフイン

アリストール

註 煉性根管充填劑、乳齒ノ根管

ニ用ユ

八、〇

二、〇

六、〇

二、〇

一、〇

三、〇

三、〇

三、〇

齒根疾患並ニ根管治療劑

一七一

第四章 齒根膜疾病治療用劑

第一節 無腐敗性齒根膜炎

治療劑

薄荷性

- (一) クロロホルム 一、三
- アコニツト丁幾 六、〇
- 三〇、〇

註 デンタルリニメントノ名アリ
局部齒根側、齒齦部ヲ乾燥セ
シメタル後塗布ス

(二)

薄荷精

沃度(結晶)

- 沃度(結晶) 〇、六
- クロロホルム 六、〇
- アコニツト丁幾 三〇、〇

註 カウンターイルリタメント使用
法ハ前者ニ同シ(バツクレー
氏)

複方沃度液

- (三) 沃度水 等量
- ルゴール液

註 右合劑塗布

頰部罨法劑

- (四) 醋酸鉛糖 四、〇
- アヘン丁幾 一五、〇
- 水 三〇〇、〇

- (五) 沃度丁幾 等量
- クレオソート

註 塗布劑

齒根膜疾病治療用劑

(六)

アコニツト丁幾

阿片丁幾

クロロホルム

各等量

註 塗布劑(鎮痛)

(七)

阿片丁幾

醋酸鉛液

等量

註 塗布劑(鎮痛)

(八)

沃度丁幾

アコニツト丁幾

印度大麻丁幾

複方安息香丁幾

等量

註 塗布劑(ゴークス氏)

齒根膜疾病治療用劑

(九)

アコニット丁幾
沃度丁幾
註 塗布劑
等量

(一〇)

沃度丁幾
クレオソート
石炭酸
註 塗布劑(ゴーガス氏カウンタ
ーイェルリタント)

(二)

沃度丁幾
沃度加里
樟腦
アルコール
註 塗布劑
五〇〇
二〇〇
一〇〇
四〇〇

(三)

沃度
沃度加里
アコニット丁幾
アルコール
クロロホルム
註 塗布劑(ハーラン氏)

(三)

沃度
酒精
註 塗布劑
一〇〇
八〇〇

(四)

純エーテル
註 右齒齦部上ニ霧散セシム

蕃椒末
三三〇

イリス根末
三三〇

松脂
一〇〇

(五)

註 齒齦面貼付劑

アコニット丁幾
二〇〇

沃度丁幾
一〇〇

クロ、ホルム
一〇〇

(六)

齒根膜疾病治療用劑

第二節

化膿性齒根膜炎及急性齒槽膿瘍治療劑

罨法料 罨法劑ノ部参照

局處塗布劑 無腐敗性齒根膜炎治療劑参照

根管貼付劑 根管消毒劑ノ部参照

參照

齒齦部塗布劑

(一) アルコール
水
三三〇
三〇〇
三〇〇

齒根膜疾病治療用劑

根管貼布

(二) クレゾール 四、〇
フォルマリン 四、〇

根管貼付劑

(三) アリストール 六、〇
クロ、ホルム 三、〇
桂皮油 五滴

(四) チモール 沃度 沃度加里 等量

一七六

内服劑

(五) 沃度加里 六、〇
複方サルサ舍利別 九〇、〇

内服劑

(六) 枸橼酸マグネシウム液 三六〇、〇
註 半量ヲ一時ニ服用シ他ノ半量ヲ二時間後服用

(七) 重硫酸キニーネ 一、五
膠囊劑十二個トナス
註 効果ノ現ハレル迄毎時一個宛服用

内服

(八) アンチヘブリン散 〇、八
分二包

註 一包ヲ服用シ他ノ一包ヲ二時間後服用

(九) アンチヘブリン 〇、五
單舎和別 一五、〇
ウイスキー 九〇、〇

註 半量ヲ服用シ殘量ヲ二時間後ニ服用ス

(一〇) 硫酸キニーネ 二、〇
アンチピリン 一、六
枸橼コヒイ 〇、二

註 合劑十二粒トナシ一時間毎ニ一粒ツツテ用ユ

齒根膜疾病治療用劑

一七七

第三節 慢性齒槽膿瘍治療劑

根管貼付劑 || 根管消毒劑ノ部

参照

根管貼付劑

- (一) チモール 〇、六
- ユーカリプトール 四、〇

註 殊ニ本症ニ於テ根管消毒ニ効アリ

同

- (二) チモール 一、〇
- グリセリン 二滴

同

- (三) クレゾール 四、〇
- フォルマリン 四、〇

同

- (四) メントール 一、三
- チモール 二、六九
- 石炭酸 一二、〇

根管消毒

- (五) 五〇%硫基石炭酸 重曹水

註 根管清掃、擴大、消毒ノ効アリ

根管洗通劑

- (六) 生理的食鹽水 三〇、〇
- 石炭酸 〇、一二

- (七) 桂皮水 三〇、〇
- 石炭酸 〇、一二

根管洗通劑

- (八) 薄荷水 一〇〇、〇
- 石炭酸 一、〇

- (九) 昇汞 一、〇
- 酒石酸 五、〇
- 蒸溜水 二〇〇〇、〇

根管通過劑

- (一〇) クレオソート 等量
- 沃度丁幾

- (二) グリセリン 一、〇
- タンニン酸 二、〇

根管貼付

- (三) グリセリン 二、〇
- タンニン酸 二、〇
- 醋酸モルフィン 一、〇
- ヨードホルム 〇、三